

障害福祉・障害児福祉に関する アンケート調査結果の概要

I 調査の概要

この調査は、「岸和田市第5次障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画」の策定にあたり、基礎資料として、また、今後岸和田市が障害福祉施策を進める上で参考とさせていただくために、障害のある人の生活の様子や福祉サービスの利用状況、生活支援に対するご意見などをお聞かせいただくため、アンケート調査を実施しました。

調査対象、調査期間、調査方法は次表のとおりです。

■調査設計

調査名 項目	障害児福祉計画策定のための アンケート調査（18歳未満対象）	障害福祉計画策定のための アンケート調査（18歳以上対象）
調査対象	令和2年4月1日現在の年齢で抽出 ●身体障害者手帳所持者 37人 ●療育手帳所持者 107人 ●精神障害者保健福祉手帳所持者 16人 計 160人	令和2年4月1日現在の年齢で抽出 ●身体障害者手帳所持者 1,262人 ●療育手帳所持者 226人 ●精神障害者保健福祉手帳所持者 289人 ●自立支援医療（精神通院） 563人 計 2,340人
調査期間	原則、令和2年8月18日（火）から9月7日（月）とし、その後9月18日（金）まで回収しました。	
調査方法	両調査ともに、郵送により配布・回収しました。	

両調査の配布・回収状況は、以下のとおりです。

■調査対象別 配布・回収状況

項目 調査対象	配布数 (件)	不達数 (件)	有効回収数 (件)	有効回収率 (%)	前回調査 回収率(%)
18歳未満対象	160	0	60	37.5	50.0
18歳以上対象	2,340	7	1,155	49.5	

注) 有効回収率は、配布数から不達数を引いた数を母数としています。

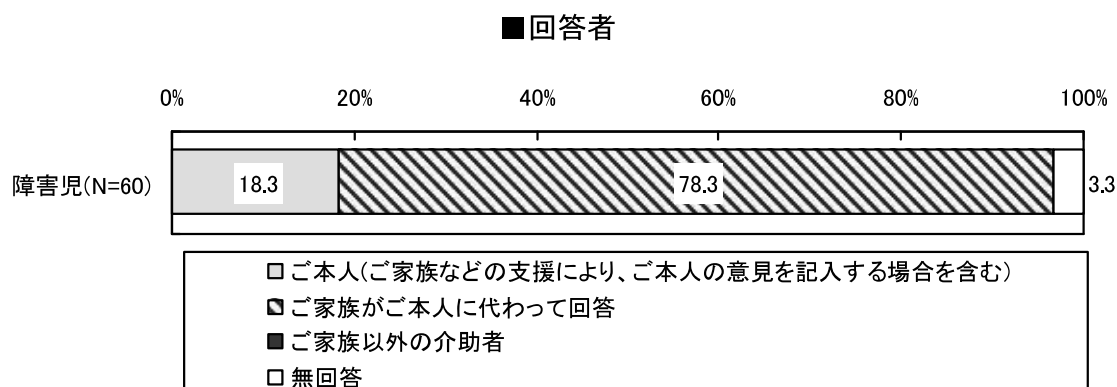
Ⅱ 18歳未満対象調査結果の概要

1 調査対象者や家族のことについて

- 回答者は、「ご本人（ご家族などの支援により、ご本人の意見を記入する場合を含む）」が18.3%、「ご家族がご本人に代わって回答」が78.3%となっています。
- 年齢は2歳以上からの回答があり、「就学前」が13.3%、「小学生」が48.3%、「中学生」が16.7%、「高校生等」が18.3%で、「小学生」が最も多くなっています。
- 性別は、「女性」が20.0%、「男性」が80.0%で、「男性」が高くなっています。
- 小学校区は、「東光」及び「山直北」がそれぞれ10.0%で最も高く、その他の小学校区は10%を割っています。
- 現在の暮らしは、「ご家族と暮らしている」が98.3%、「その他」が1.5%となっています。

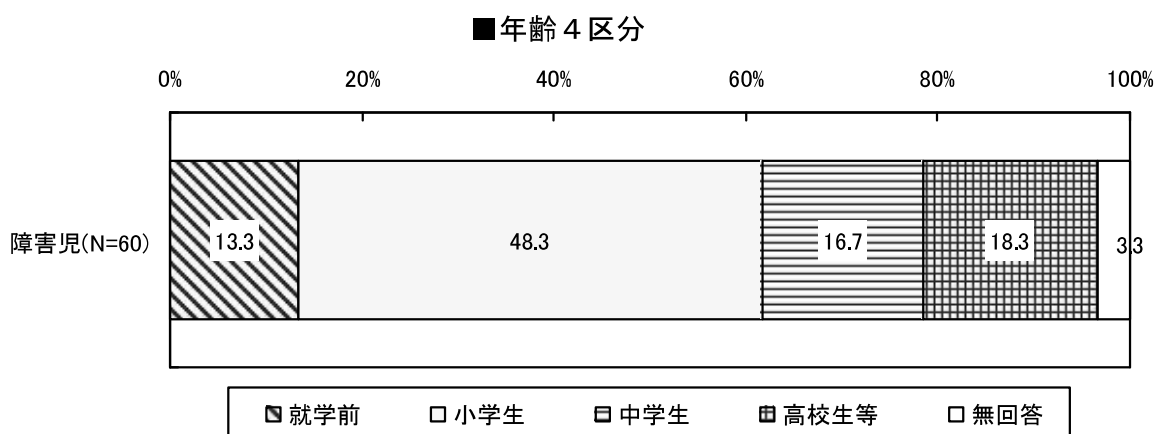
① 回答者

問1 このアンケートにお答えいただくのは、どなたですか。（1つだけ○）



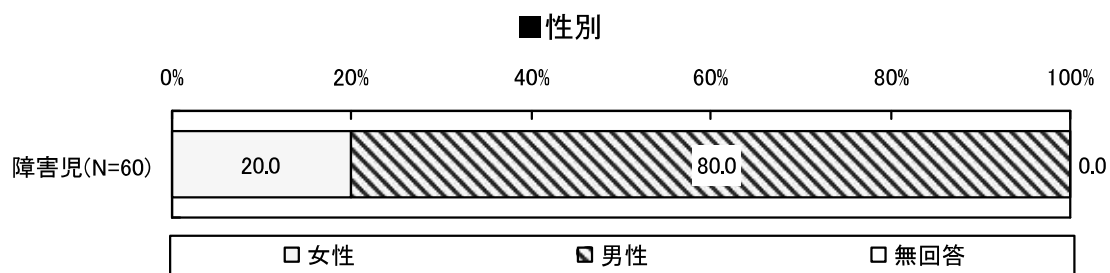
② 年齢

問2 アンケートの宛名のあなたの年齢をお答えください。（令和2年4月1日現在）



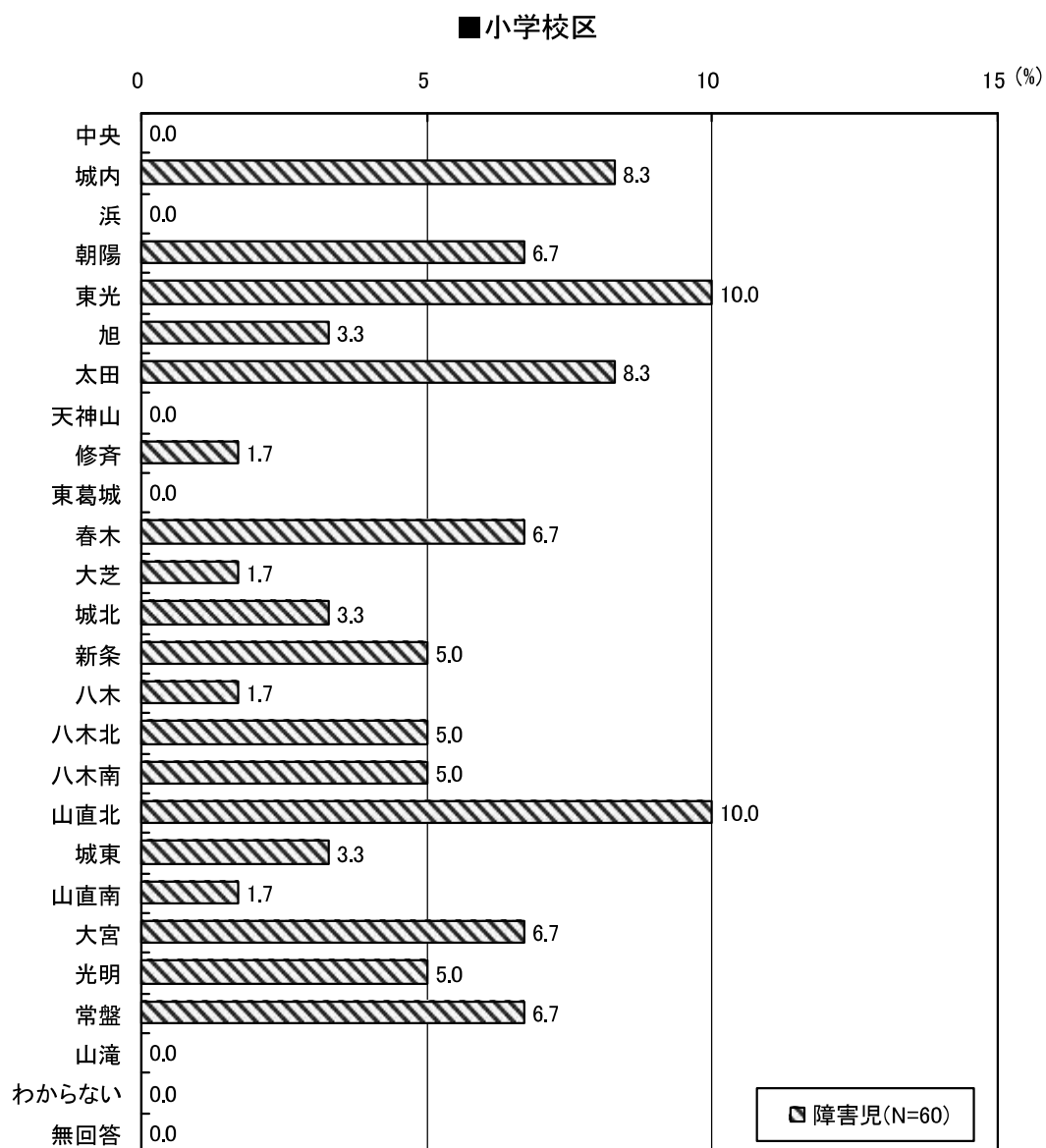
③ 性別

問3 アンケートの宛名のあなたの性別をお答えください。(どちらかに○)



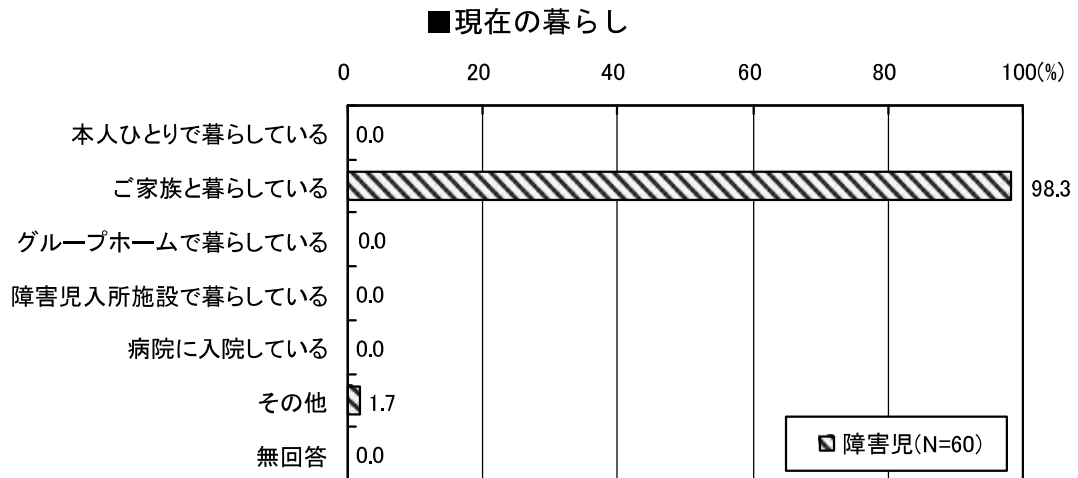
④ 居住小学校区

問4 アンケートの宛名のあなたがお住まいの小学校区はどこですか。(1つだけ○)

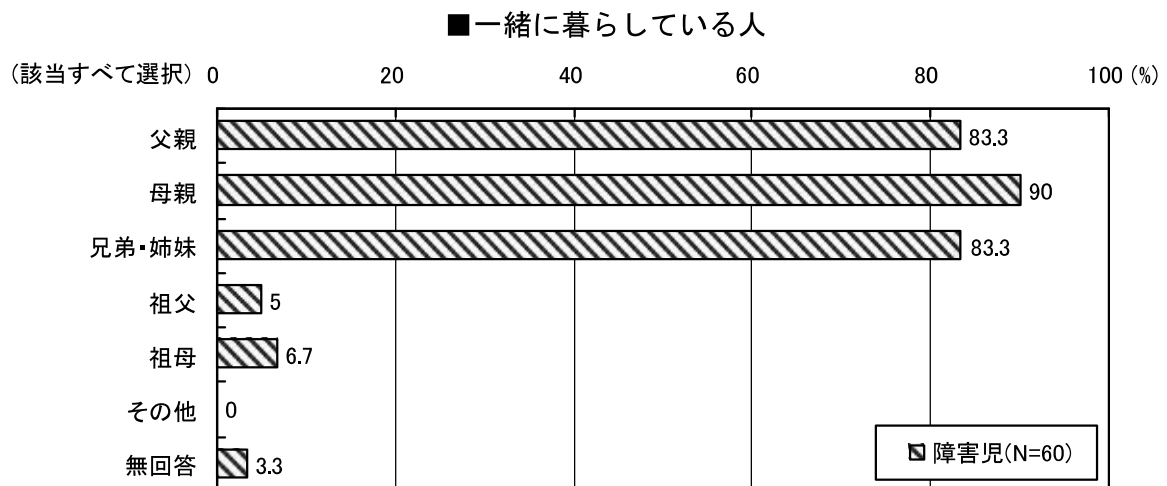


⑤ 現在の暮らし

問5 現在、アンケートの宛名のあなたは、どのように暮らしていますか。
(1つだけ○)



問5-① 「2. ご家族と暮らしている」とお答えの方におたずねします。一緒に暮らしている人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)



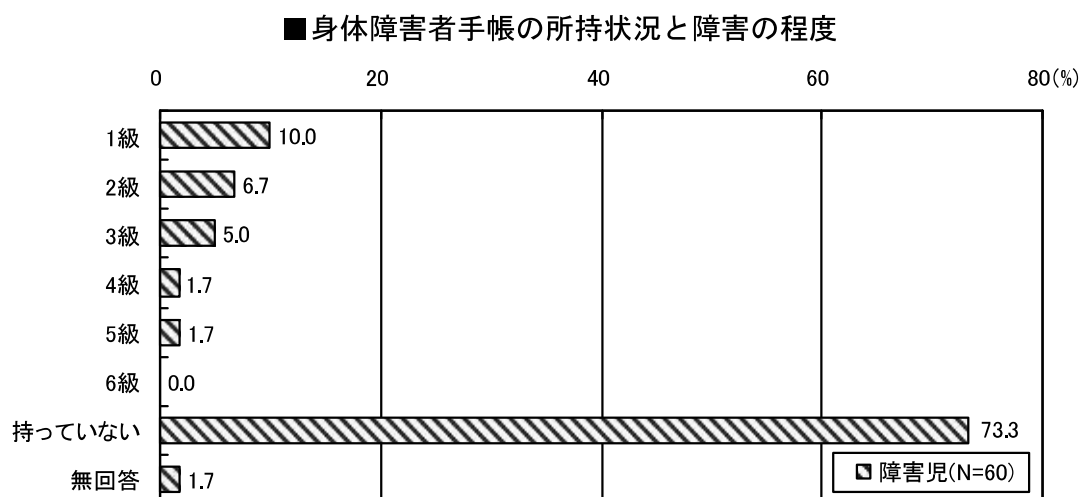
2 障害の状況について

(1) 障害者手帳所持の状況

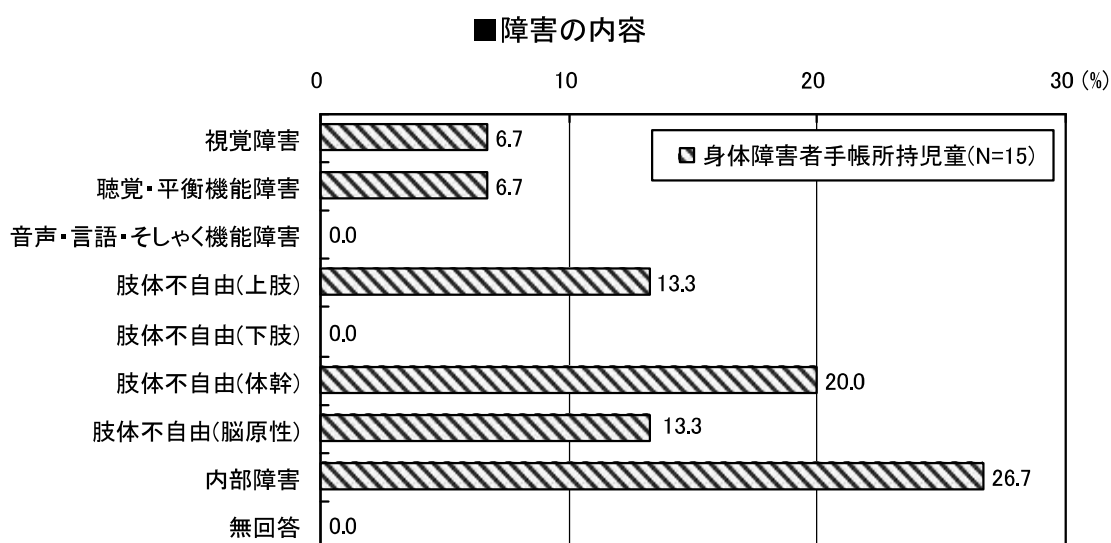
- 身体障害者手帳所持児童は、「持っていない」の73.3%と無回答の1.7%を除いた25.0%となっています。身体障害者手帳所持児童の障害の程度は、「1級」(10.0%)及び「2級」(6.7%)の重度が16.7%となっています。
- 身体障害者手帳所持児童の障害の内容は、「内部障害」が26.7%で最も高く、次いで「肢体不自由(体幹)」(20.0%)、「肢体不自由(上肢)」及び「肢体不自由(脳原性)」(各13.3%)、「視覚障害」及び「聴覚・平衡機能障害」(各6.7%)となっています。「音声・言語・そしゃく機能障害」及び「肢体不自由(下肢)」は該当なしとなっています。「その他」は複数の障害の記載となっています。
- 療育手帳所持児童は、「持っていない」の13.3%と無回答の3.3%を除いた83.4%となっています。療育手帳所持児童の障害の程度は、重度の「A判定」が26.7%、「B1判定」が8.3%、「B2判定」が48.3%で、「B2判定」が最も高くなっています。
- 精神障害者保健福祉手帳所持児童は、「持っていない」の85.0%と無回答の3.3%を除いた11.7%となっています。精神障害者保健福祉手帳所持児童の障害の程度は、重度の「1級」は該当がなく、「2級」が1.7%、「3級」が10.0%となっています。
- 手帳の所持状況から障害種別をみると、「身体障害のみ」が7.7%、「知的障害のみ」が53.8%、「精神障害のみ」が4.6%、「重複障害」が18.5%となっています。

① 身体障害者手帳の所持状況と障害の程度、障害の内容

問6 アンケートの宛名のあなたは、身体障害者手帳をお持ちですか。(1つだけ○)

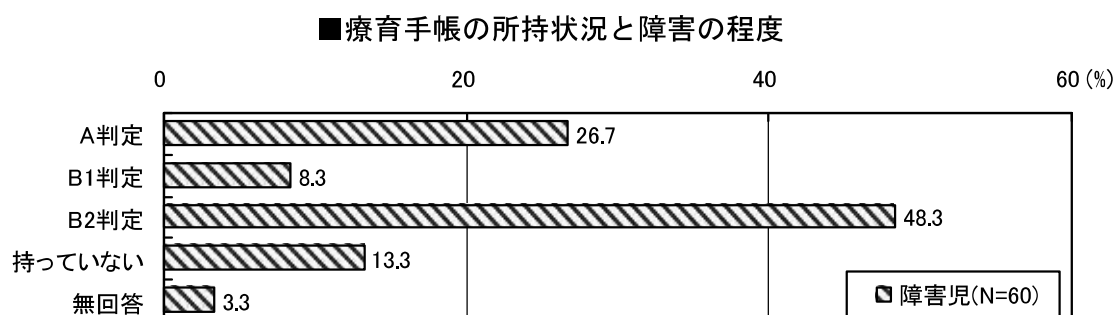


問7 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。主な障害をお答えください。
複数の障害認定を受けている場合は、手帳の等級が最も高い（障害の程度が重い）ものに1つだけ○をつけてください。



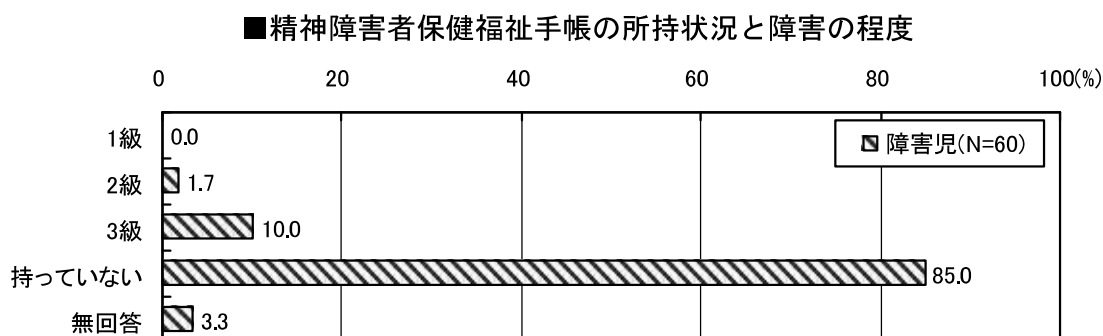
② 療育手帳の所持状況と障害の程度

問8 アンケートの宛名のあなたは、療育手帳をお持ちですか。（1つだけ○）

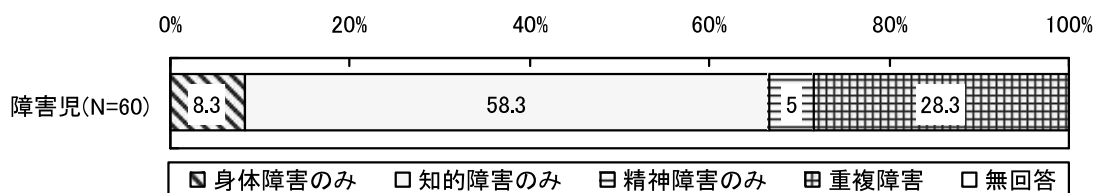


③ 精神障害者保健福祉手帳の所持状況と障害の程度

問9 アンケートの宛名のあなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。
（1つだけ○）



④ 障害の種類

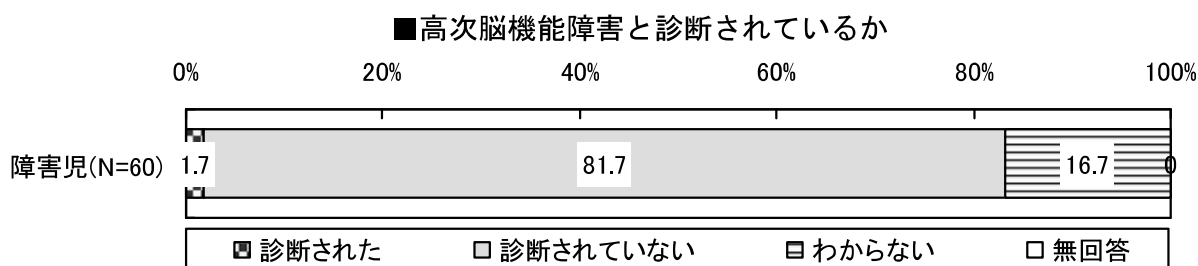


(2) 高次脳機能障害、難病の状況

- 高次脳機能障害として、「診断された」は1.7%、「診断されていない」が81.7%、「わからない」が16.7%となっています。
- 難病の認定について、「受けている」は10.0%、「受けていない」が86.7%、「わからない」が3.3%となっています。

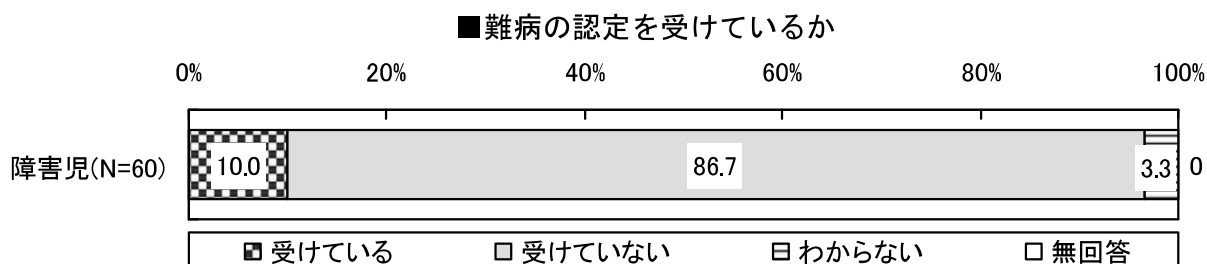
① 高次脳機能障害と診断されているか

問10 アンケートの宛名のあなたは、高次脳機能障害と診断されていますか。
(1つだけ○)



② 難病の認定を受けているか

問11 アンケートの宛名のあなたは、難病の認定を受けていますか。(1つだけ○)

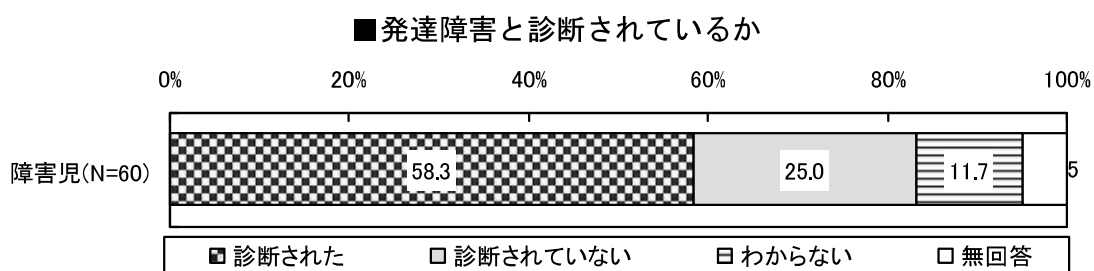


(3) 発達障害の状況

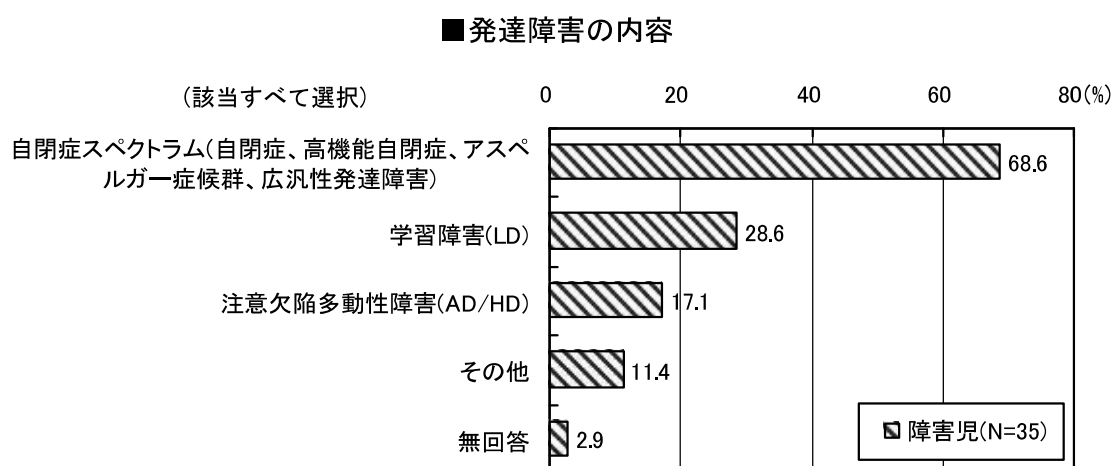
- 発達障害として「診断された」は58.3%で、半数を超えており、「診断されていない」が25.0%、「わからない」が11.7%となっています。
- 診断・判定の内容は、「自閉症スペクトラム（自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害）」が68.6%で最も高く、「学習障害（LD）」が28.6%、「注意欠陥多動性障害（AD／HD）」が17.1%などとなっています。
- 発達障害と「診断された」児童の場合、診断を受けようと思ったきっかけは、「乳幼児健診」が40.0%、「家族など身近な人が気がついた」が22.9%、「小学校・中学校・高校の職員からの勧め」が14.3%などとなっています。
- 発達障害と「診断された」児童の場合、診断後の相談先は、「保健所」が45.7%、「病院などの医療機関」が37.1%、「保育所や幼稚園、こども園」が31.4%などとなっています。

① 発達障害と診断されているか

問12 アンケートの宛名のあなたは、発達障害と診断されていますか。（1つだけ○）

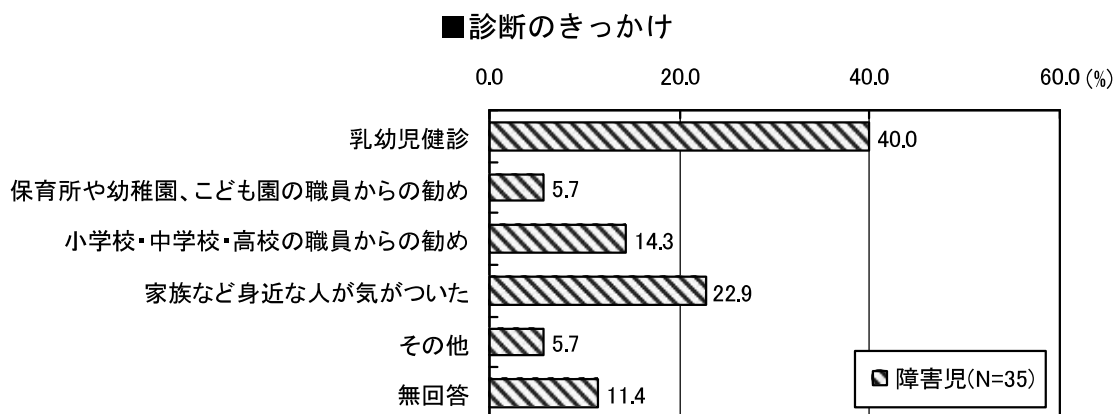


② 診断・判定の内容



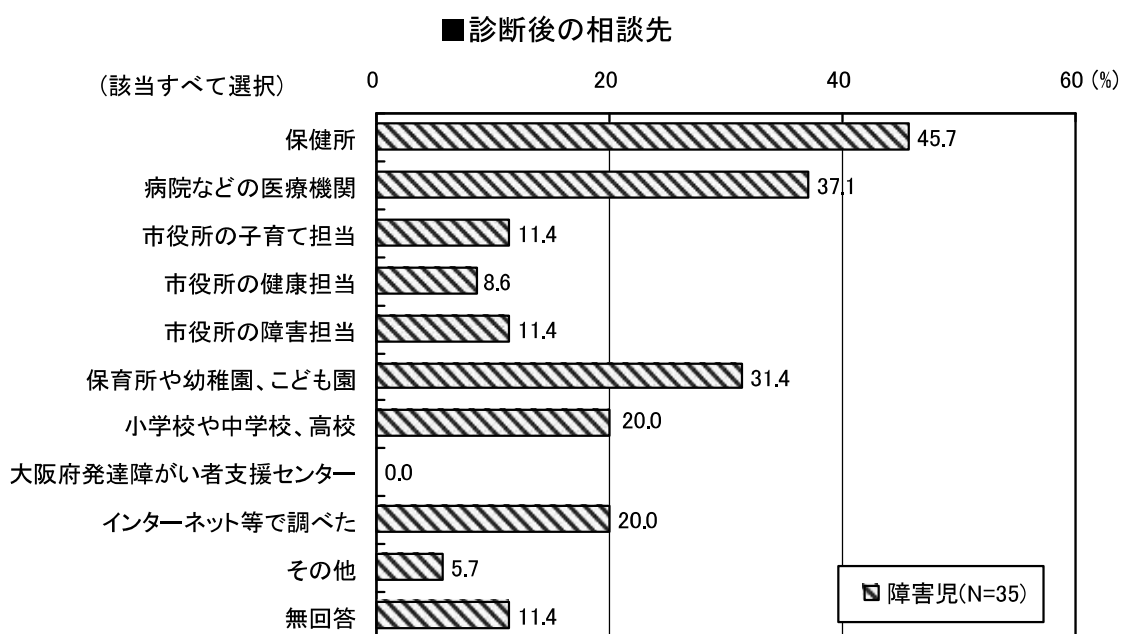
③ 診断のきっかけ

問13 問12で「1. 診断された」とお答えの方におたずねします。あなたは、何をきっかけに診断を受けようと思いましたか。(1つだけ○)



④ 診断後の相談先

問14 問12で「1. 診断された」とお答えの方におたずねします。あなたは、診断を受けた後に、どこに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

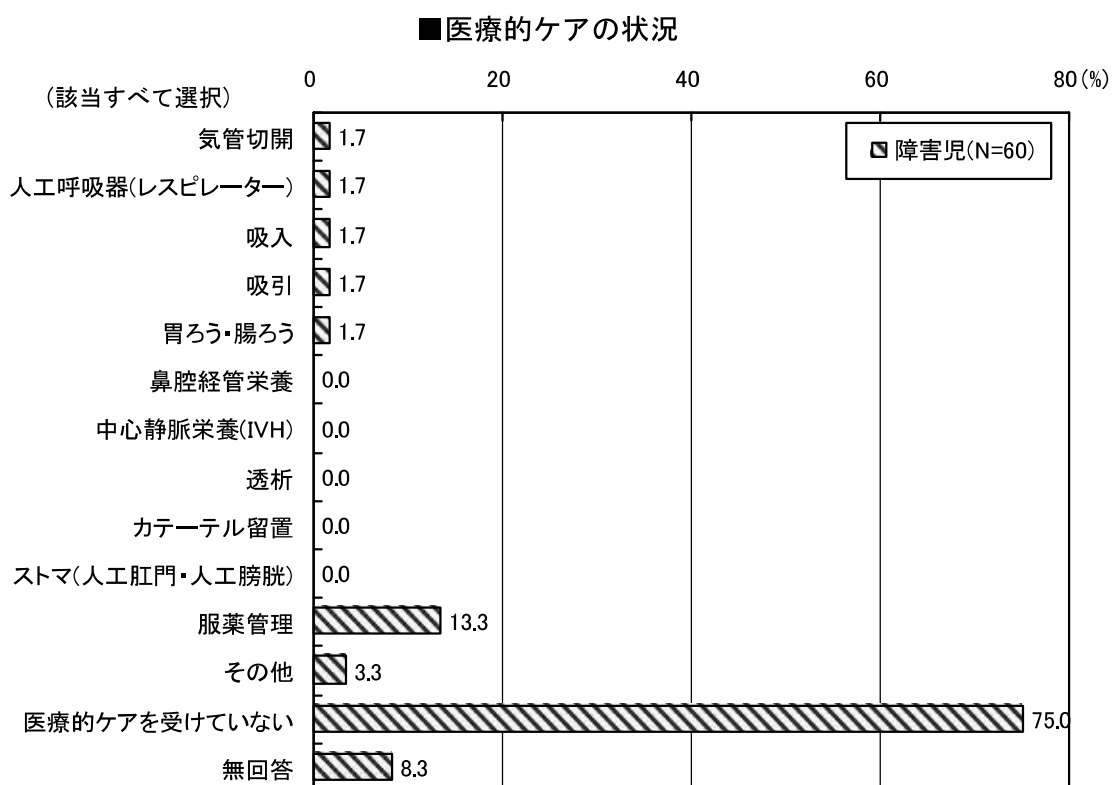


(4) 医療との関係

- 医療的ケアを受けている児童は、「医療的ケアを受けていない」の75.0%と無回答の8.3%を除いた16.7%で、およそ6人に1人となっています。
- 受けているケアで最も高いのが「服薬管理」で13.3%、次いで「その他」が3.3%、「気管切開」、「人工呼吸器（レスピレーター）」、「吸入」、「吸引」、「胃ろう・腸ろう」がそれぞれ1.7%で、これ以外は該当がありませんでした。
- 夜間や休日に急に具合が悪くなったことがある児童は、「夜間や休日に急に具合が悪くなったことはない」の51.7%と無回答の15.0%を除いた33.3%となっています。対応としては、「救急車を呼んで病院にみてもらった」が11.7%、「かかりつけ医にすぐにみてもらった」が10.0%、「その他」が3.3%となっています。一方、【我慢した】は「病院や診療所の診察が始まるまで我慢した」が15.0%、「処方された薬などを服用して我慢した」が10.0%、「何もしないで我慢した」がそれぞれ3.3%となっています。

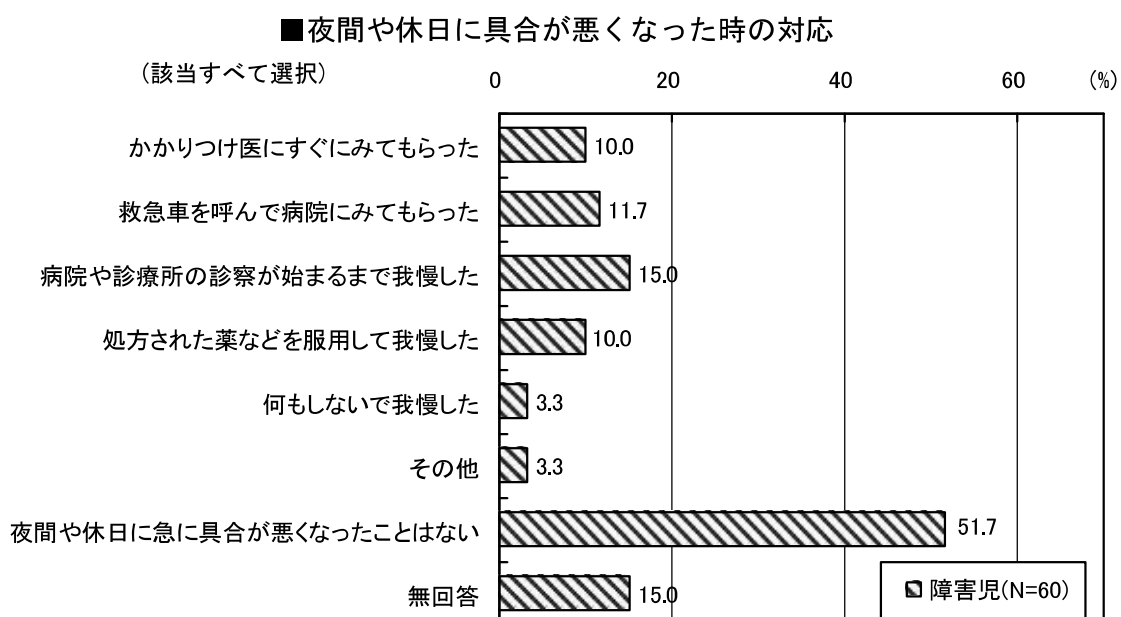
① 医療的ケアの状況

問15 アンケートの宛名のあなたのすべての方におたずねします。現在受けている医療的ケアをお答えください。（あてはまるものすべてに○）



② 夜間や休日に具合が悪くなった時の対応

問16 アンケートの宛名のあなたは、ご自身の障害のことで夜間や休日に急に具合が悪くなった時、どのような対応をとりましたか。(あてはまるものすべてに○)

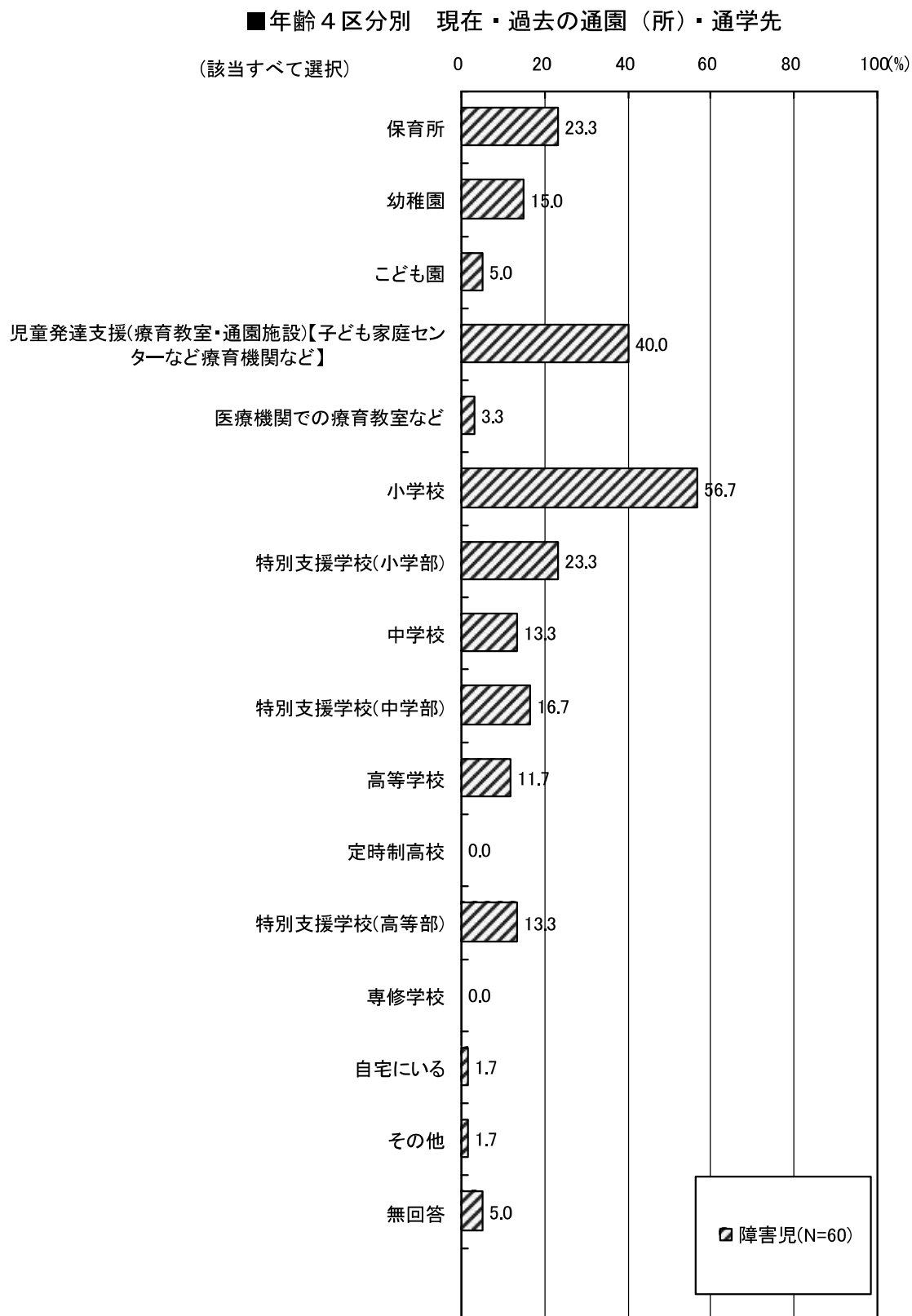


3 育成・教育などについて

- 育成・教育に関する支援の希望は、「子どもの持つ能力や障害の状態に適した指導の実施」(75.0%)が高く、次いで「乳幼児期、小学生期、中学生期、中学卒業後の各期の連続性のある支援」(66.7%)、「就学・進路相談など相談体制の充実」(65.0%)などと続きます。
- 休日や放課後の過ごし方としては、「自宅でテレビなどを見て過ごしている」が78.3%で最も高く、次いで「放課後等デイサービスを利用している」(58.3%)、「習い事や趣味を行っている」(28.3%)などとなっています。

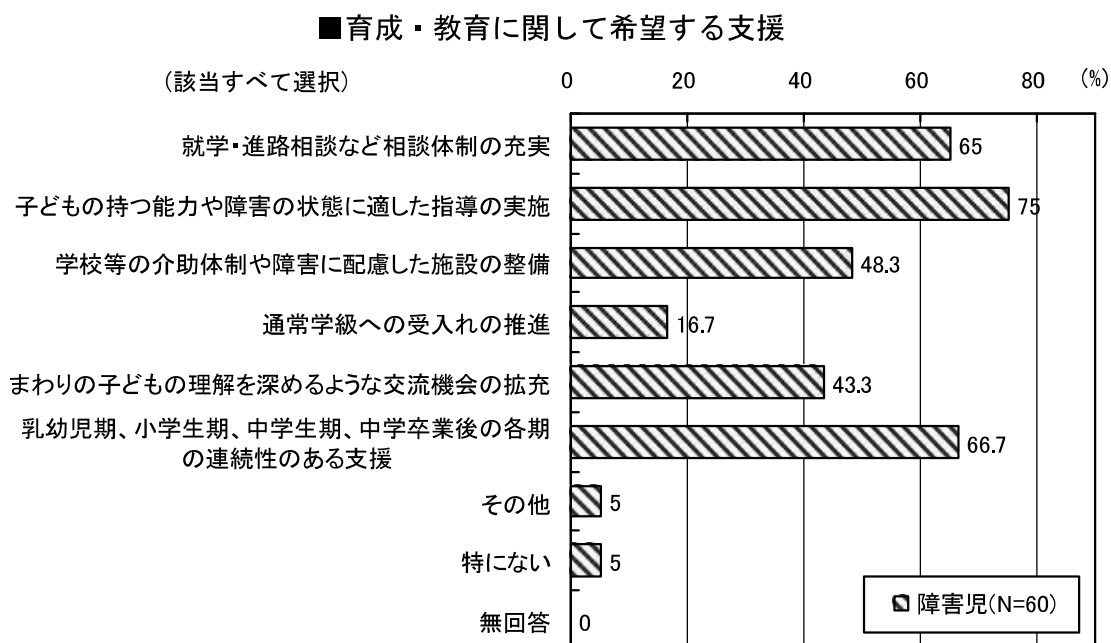
① 現在の通園（所）・通学先と過去の通園（所）・通学先

問17 アンケートの宛名のあなたは、現在どこに通っていますか。または過去に通っていましたか。（乳幼児期から現在まで、あてはまるものすべてに○）



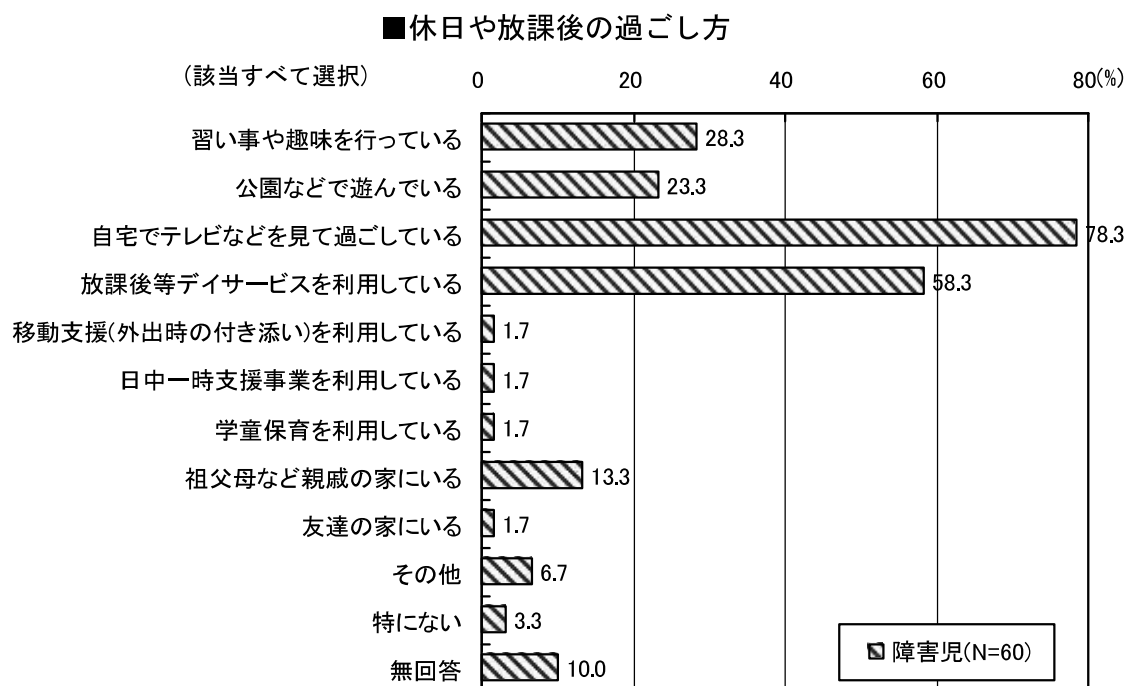
② 育成・教育に関する支援の希望

問18 アンケートの宛名のあなたやご家族は、育成・教育に関してどのような支援を希望しますか。(あてはまるものすべてに○)



③ 休日や放課後の過ごし方

問19 アンケートの宛名のあなたは、休日や放課後をどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)



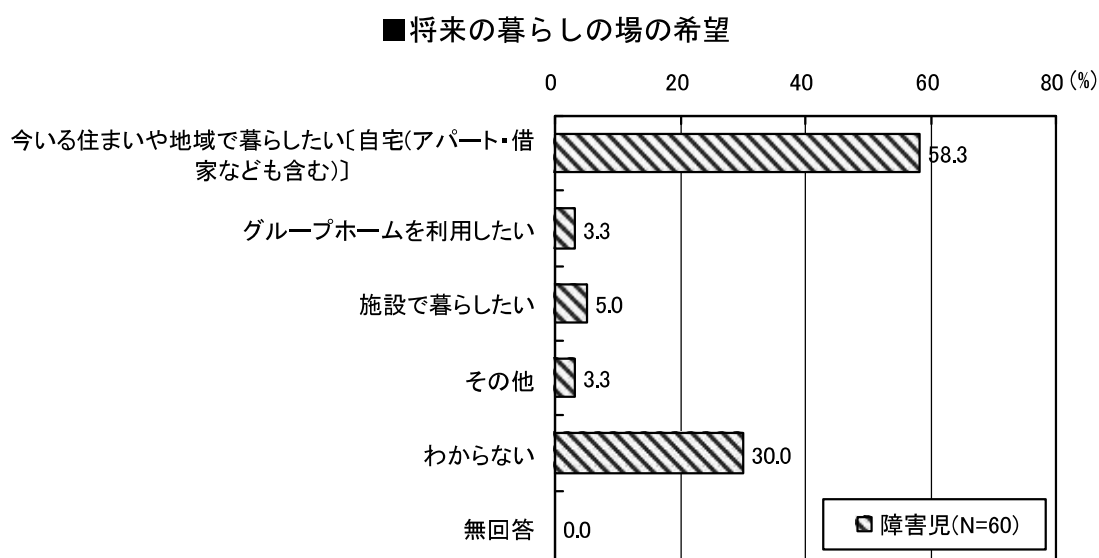
4 将来の暮らしについて

(1) 暮らしの場

- 将来の暮らしの場の希望は、「今いる住まいや地域で暮らしたい〔自宅（アパート・借家なども含む）〕」が58.3%、「施設で暮らしたい」が5.0%、「グループホームを利用したい」及び「その他」が3.3%となっています。また、「わからない」が30.0%となっています。
- 在宅を希望する場合の支援としては、「経済的な負担の軽減」が70.3%で最も高く、次いで「相談対応等の充実」が45.9%、「障害のある人が利用しやすい住居の確保」が43.2%、「生活訓練等の充実」及び「コミュニケーションについての支援」がそれぞれ37.8%、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」及び「地域住民等の理解」がそれぞれ32.4%など僅差で続きます。
- 「経済的な負担の軽減」については、「各種税金」が88.5%で最も高く、次いで「公共料金（電気、ガス、水道など）」が76.9%で続き、「医療費」が69.2%、「障害福祉サービス利用料」が53.8%などとなっています。

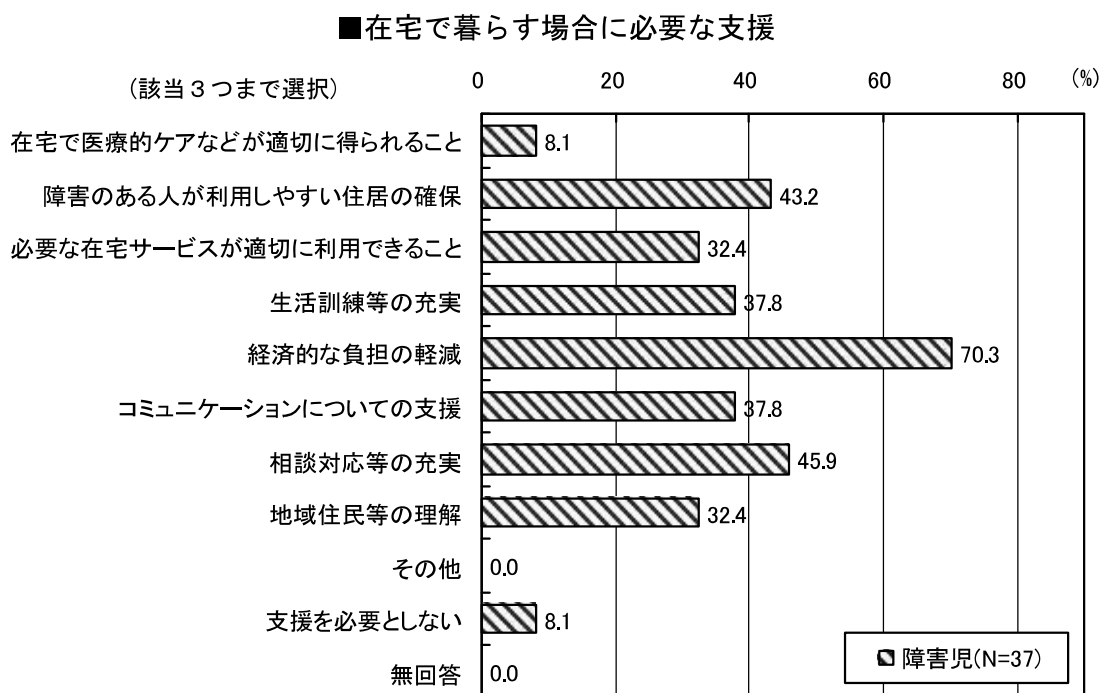
① 将来の暮らしの場の希望

問20 アンケートの宛名のあなたは、将来どのように暮らしたいと思いますか。
(1つに○印)



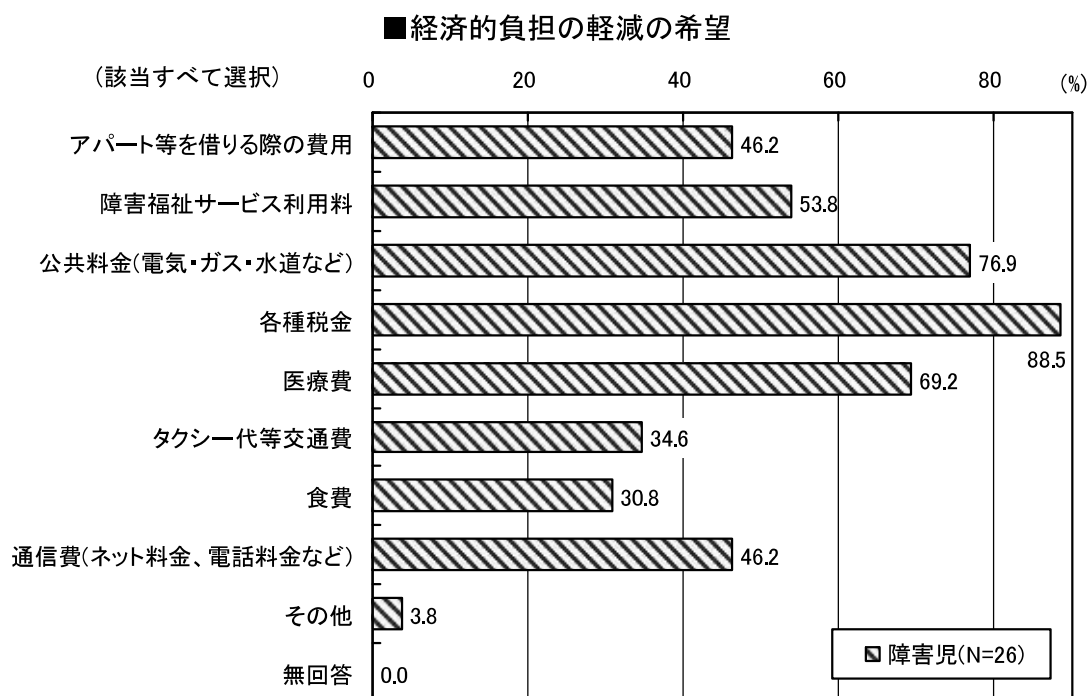
② 在宅で暮らす場合に必要な支援

問21 問20で「1. 今いる住まいや地域で暮らしたい〔自宅(アパート・借家なども含む)〕または「2. グループホームを利用したい」とお答えの方におたずねします。在宅で暮らす場合、どのような支援があればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)



③ 経済的負担の軽減の希望

問22 問21で「5. 経済的な負担の軽減」とお答えの方におたずねします。あなたは、どのような経済的負担の軽減があればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○印)

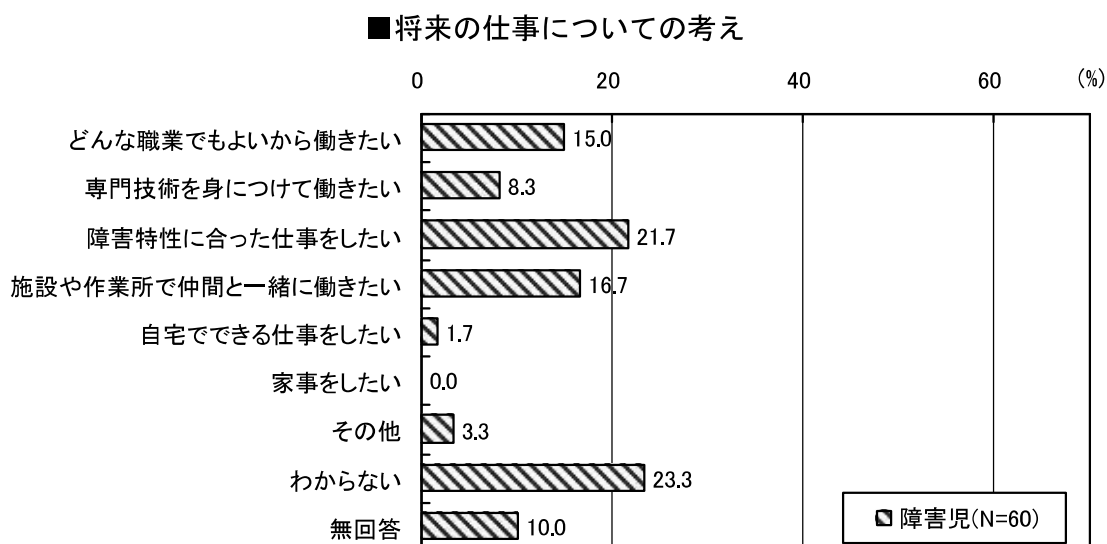


(2) 将来の仕事について

- 将来の仕事については、「わからない」を除くと、「障害特性に合った仕事をしたい」が21.7%で最も多く、次いで「施設や作業所で仲間と一緒に働きたい」が16.7%、「どんな職業でもよいから働きたい」が15.0%、「専門技術を身につけて働きたい」が8.3%、「自宅でできる仕事をしたい」が1.7%で、【就労希望】は合わせて63.4%となっています。
- 障害のある人の就労支援として必要なことは、「職場の人に理解がある」が88.3%で最も高く、次いで「障害に合った仕事である」(83.3%)、「職場に相談・指導してくれる人がいる」(78.3%)、「十分な教育訓練期間がある」(71.7%)が続きます。

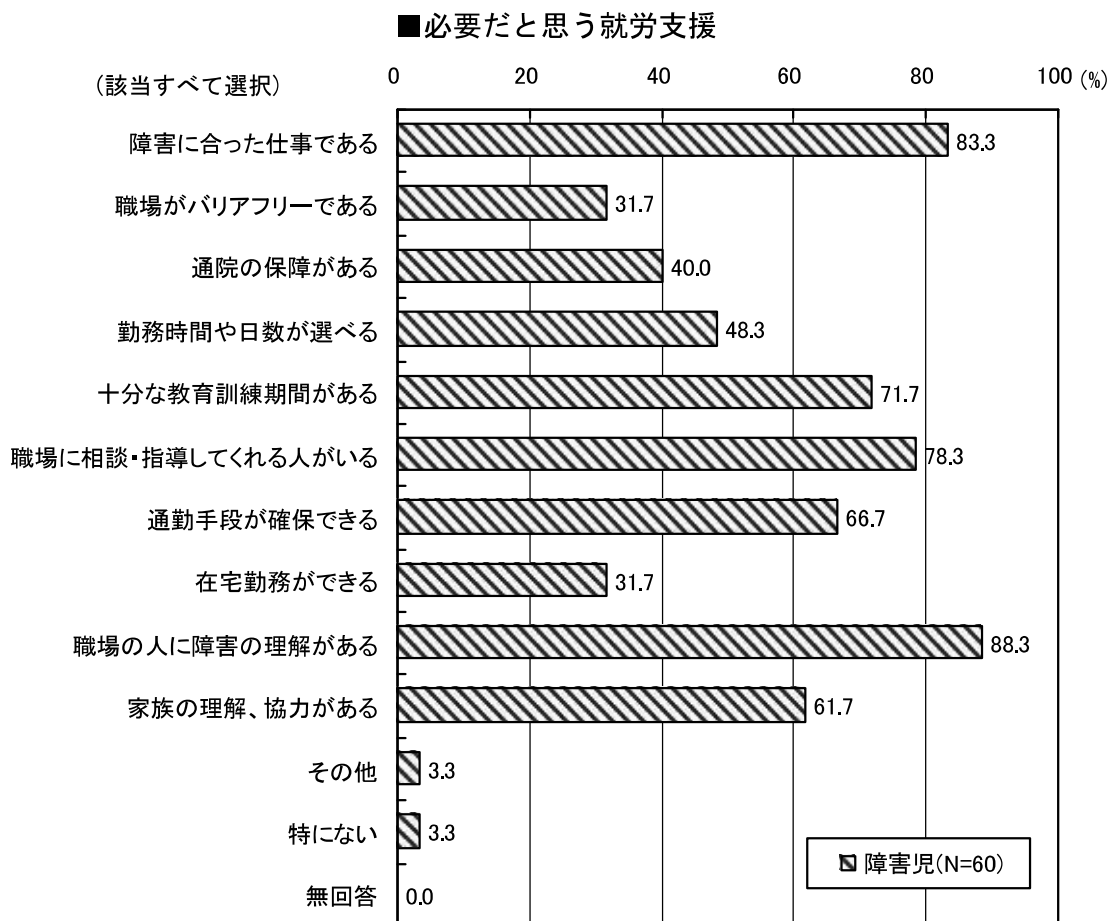
① 将来の仕事についての考え

問23 アンケートの宛名のあなたのすべての方におたずねします。あなたは、将来の仕事について、どのようにお考えですか。(1つだけ○)



② 障害のある人の就労支援として必要なこと

問24 障害のある人の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)



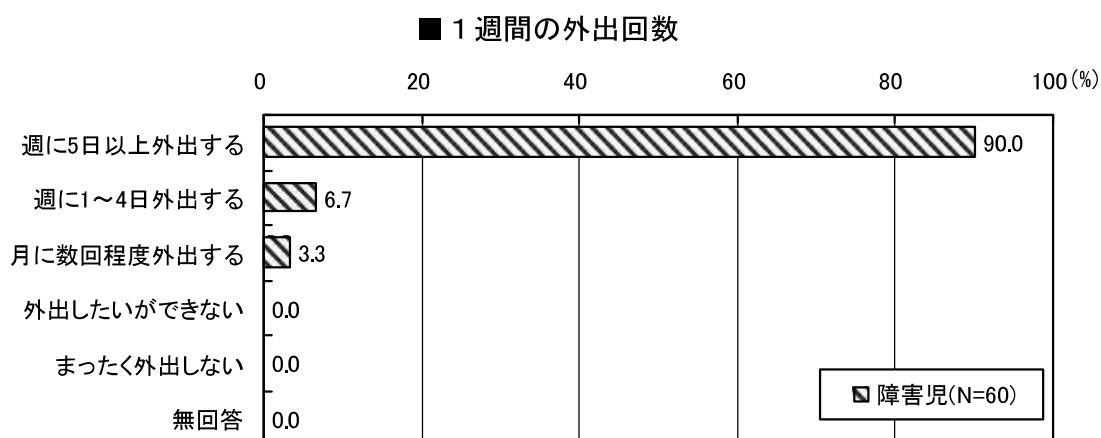
5 地域での生活について

(1) 外出について

- 1週間に外出する頻度は、「週に5日以上外出する」が90.0%、「週に1～4日外出する」が6.7%、「月に数回程度外出する」が3.3%で、通学や通所等があるため、ほとんどの児童が頻繁に外出しています。
- 外出する際の同行者は、「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が80.0%で最も高く、次いで「一人で外出する」が36.7%、「ホームヘルパーなどサービス事業所の人」が21.7%、「友人・知人」が20.0%と続きます。
- 外出の時に困ることは、「特にない」の23.3%と無回答の6.7%を除いた71.0%があげていて、「困った時にどうすればいいのか心配」が45.0%で最も多く、次いで「切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい」が25.0%、「周囲の目が気になる」が21.7%となっています。

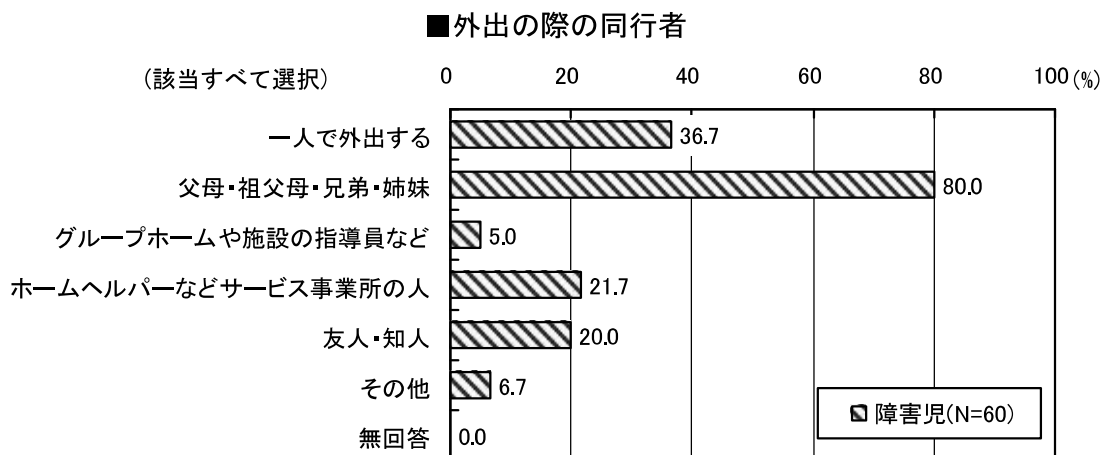
① 1週間の外出回数

問25 アンケートの宛名のあなたは、通所（園）や通学、通勤なども含め、1週間にどの程度外出しますか。（1つだけ○）



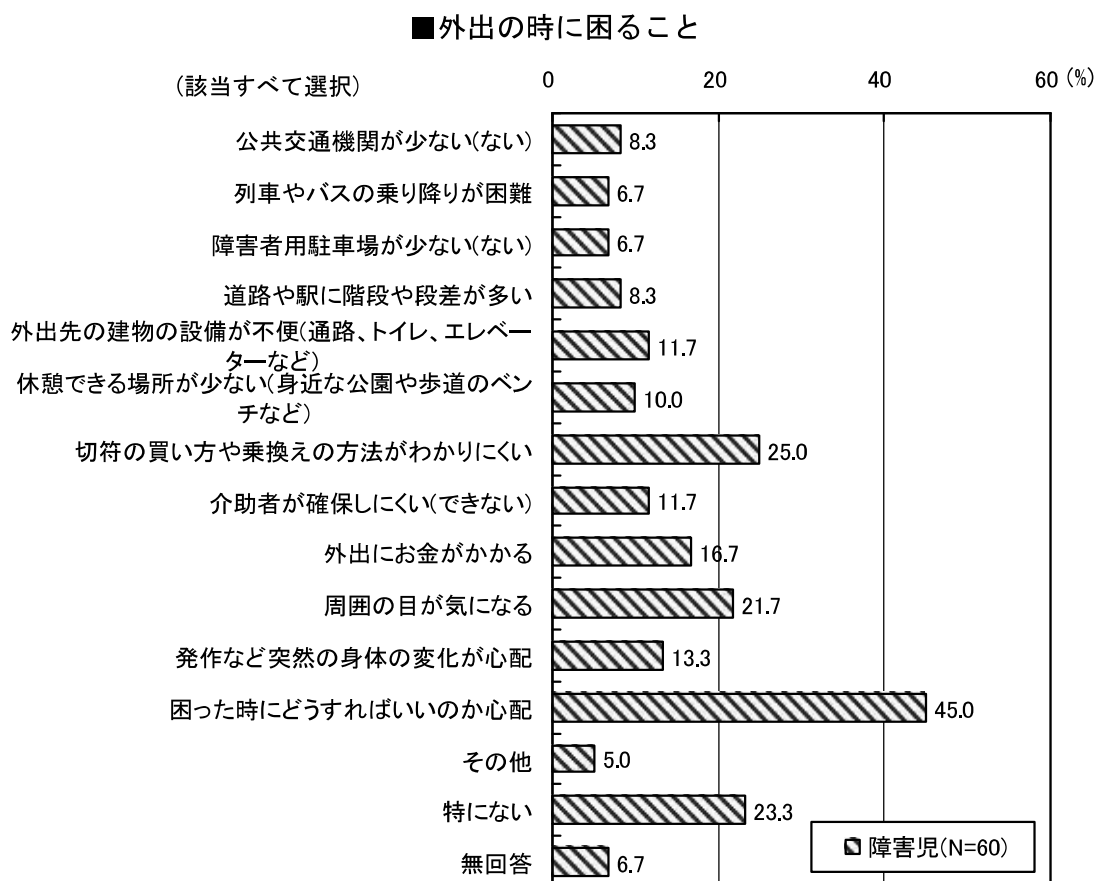
② 外出の際の同行者

問26 問25で「1. 週に5日以上外出する」「2. 週に1～4日外出する」「3. 月に数回程度外出する」とお答えの方におたずねします。あなたは、外出する際に誰と外出しますか。(あてはまるものすべてに○)



③ 外出の時に困ること

問27 問25で「1. 週に5日以上外出する」「2. 週に1～4日外出する」「3. 月に数回程度外出する」とお答えの方におたずねします。あなたが外出の時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

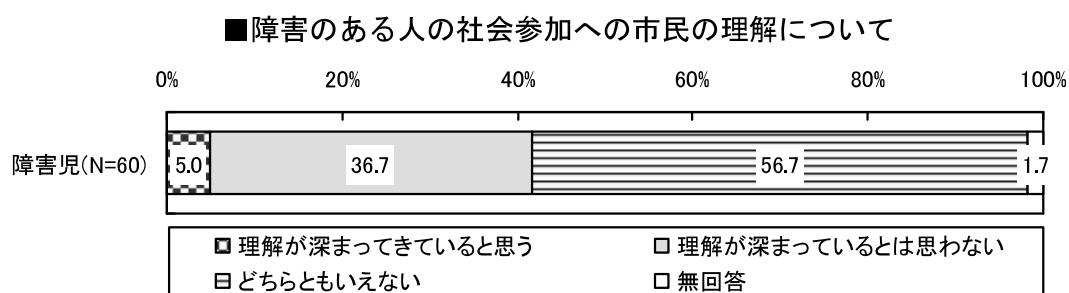


(2) 差別や偏見について

- 障害のある人の社会参加への市民の理解について、「理解が深まってきていると思う」は5.0%で、一方、「理解が深まっているとは思わない」が36.7%となっています。また、「どちらともいえない」が56.7%となっています。
- 障害があるために差別や嫌な思いをする（した）ことについて、「ある」は31.7%、「少しある」が35.0%となっています。一方、「ない」は28.3%となっています。
- 差別や嫌な思いをした場面は、「街なかでの人の視線」（55.0%）や「人間関係」（47.5%）が高く、「教育の場」（40.0%）、「病院や歯科医院での診療時」（30.0%）、「交通機関の利用」（25.0%）などと続きます。

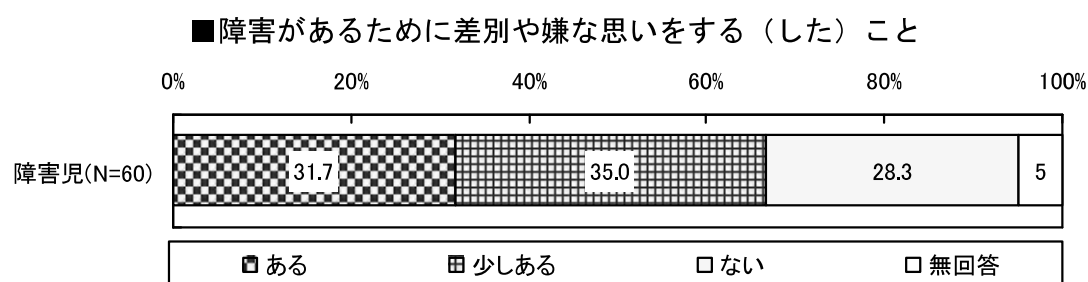
① 障害のある人の社会参加への市民の理解について

問28 アンケートの宛名のすべての方におたずねします。あなたは、障害のある人の地域活動や就職などの社会参加について、市民の理解が深まってきていると思いますか。（1つだけ○）



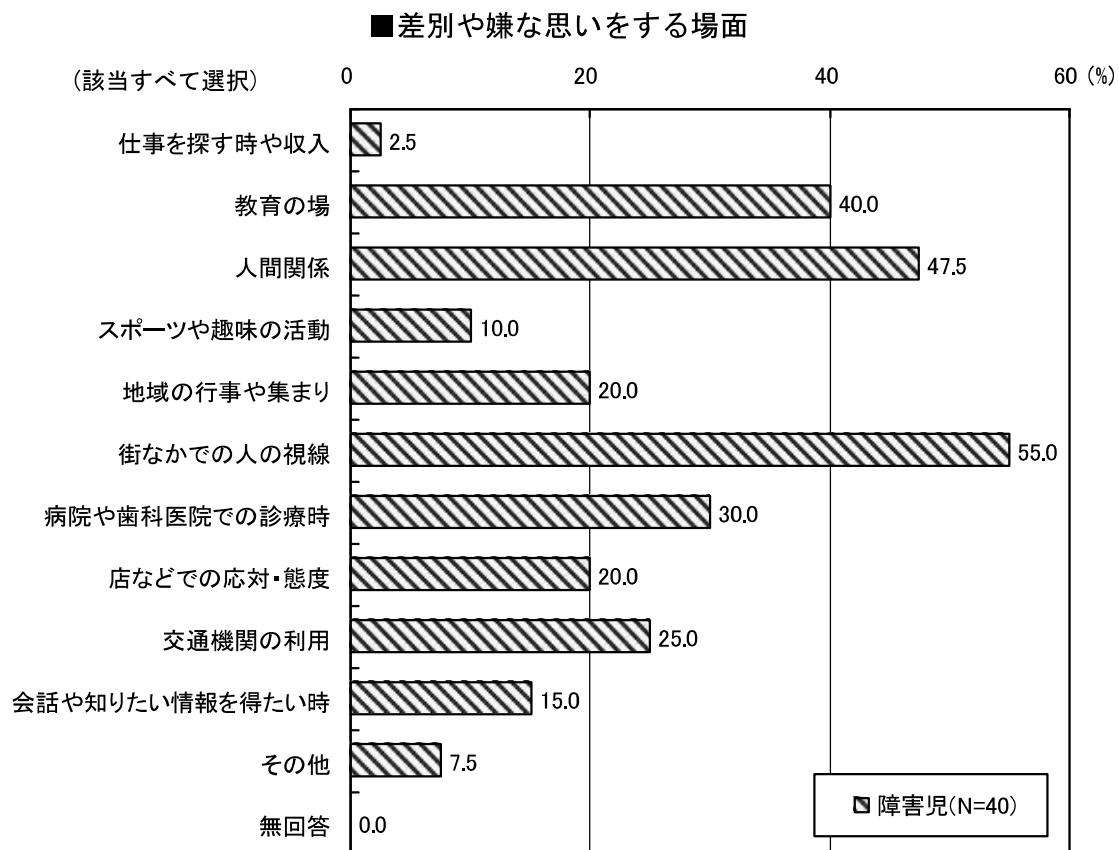
② 障害があるために差別や嫌な思いをする（した）こと

問29 アンケートの宛名のあなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（1つだけ○）



③ 差別や嫌な思いをする場面

問30 問29で「1. ある」または「2. 少しある」とお答えの方におたずねします。
どのような場面で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)



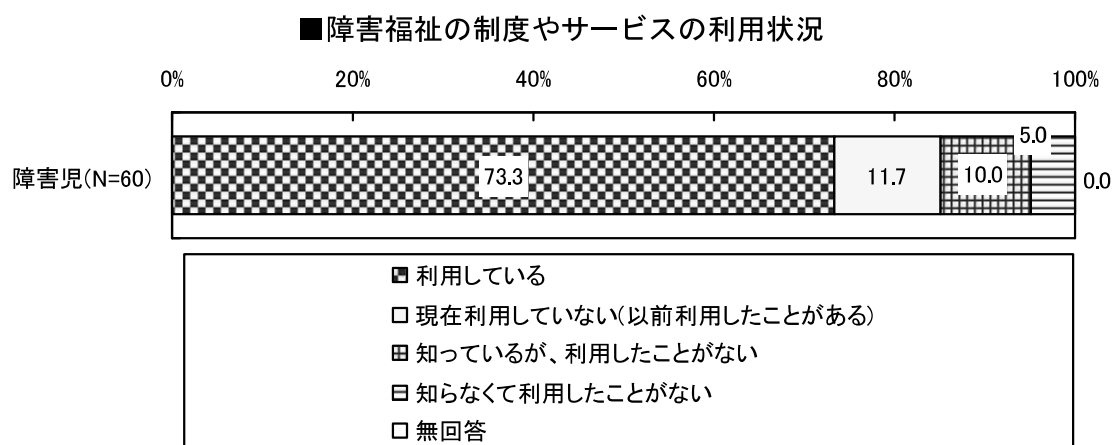
6 障害福祉サービス等の利用について

(1) 障害福祉サービス等の利用状況

- 障害福祉の制度やサービスを「利用している」は73.3%で、一方、【利用していない】は、「現在利用していない（以前利用したことがある）」（11.7%）、「知っているが、利用したことがない」（10.0%）、「知らなくて利用したことがない」（5.0%）を合わせて26.7%となっています。
- 利用者の利用している制度・サービスは、「放課後等デイサービス」70.5%で最も高く、次いで「各種減免（割引）制度」が50.0%、「児童発達支援（個別や集団での指導・訓練を通じた発達に即した適切な支援）」が25.0%などとなっています。
- 利用者で制度やサービスに対して不満に思う児童は、「特にない」の22.7%と無回答の9.1%を除いた68.2%で、内容は「利用回数や時間などに制限がある」が36.4%で最も高く、次いで「相談や手続きに時間がかかる」が22.7%、「利用したい日や時間に利用できない」が15.9%などとなっています。
- 制度やサービスの未利用者の理由では、「サービスを利用する必要がない」が68.8%で半数以上があげ、その他の回答としては「その他」が25.0%、「利用するまでの手続きがわからない」が18.8%、「サービスに関する情報がない」が12.5%、「利用して嫌な思いをしたから」が6.3%で、その他の選択肢は該当がありませんでした。

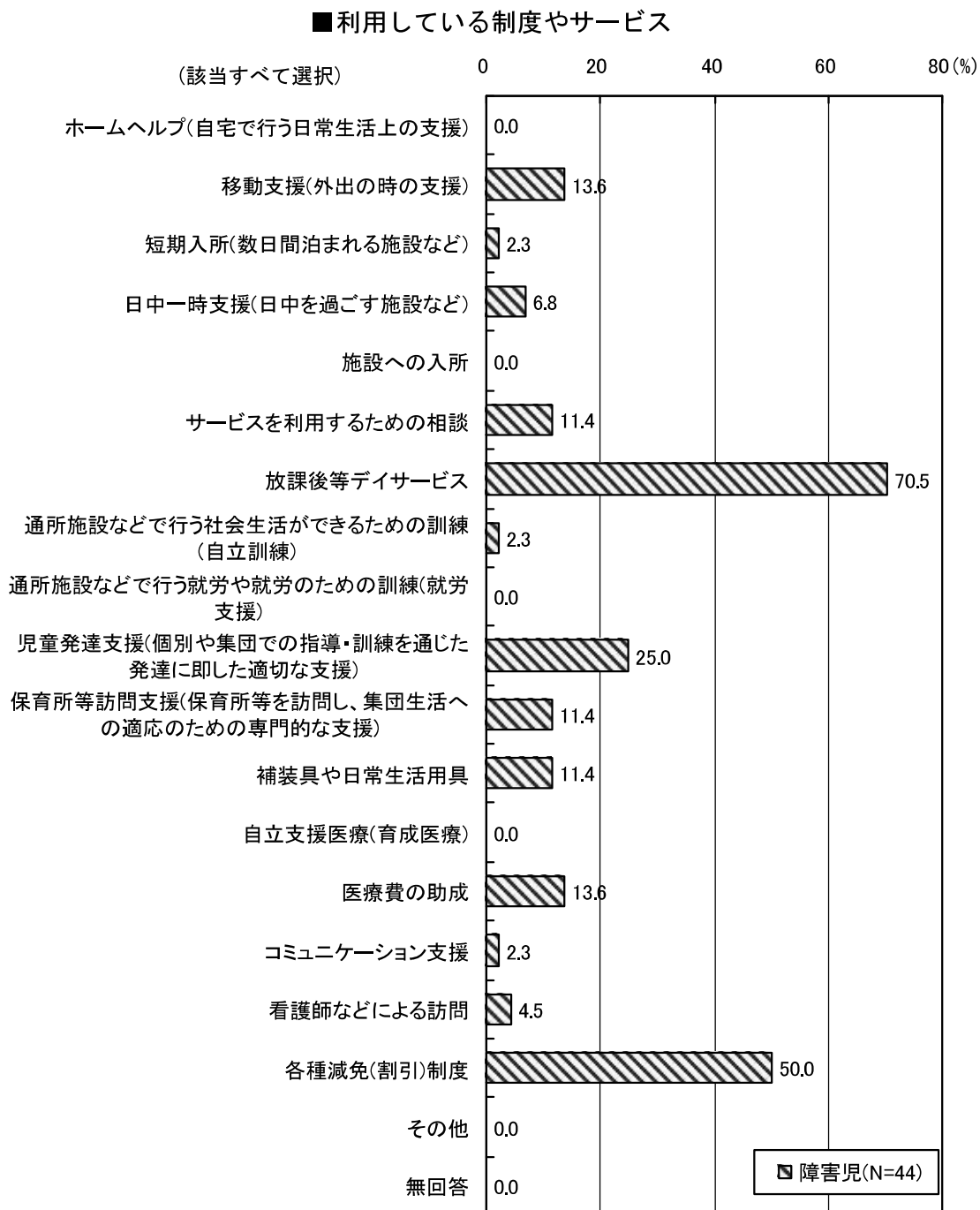
① 障害福祉の制度やサービスの利用状況

問31 アンケートの宛名のあなたは、障害福祉の制度やサービスを利用していますか。（1つだけ○）



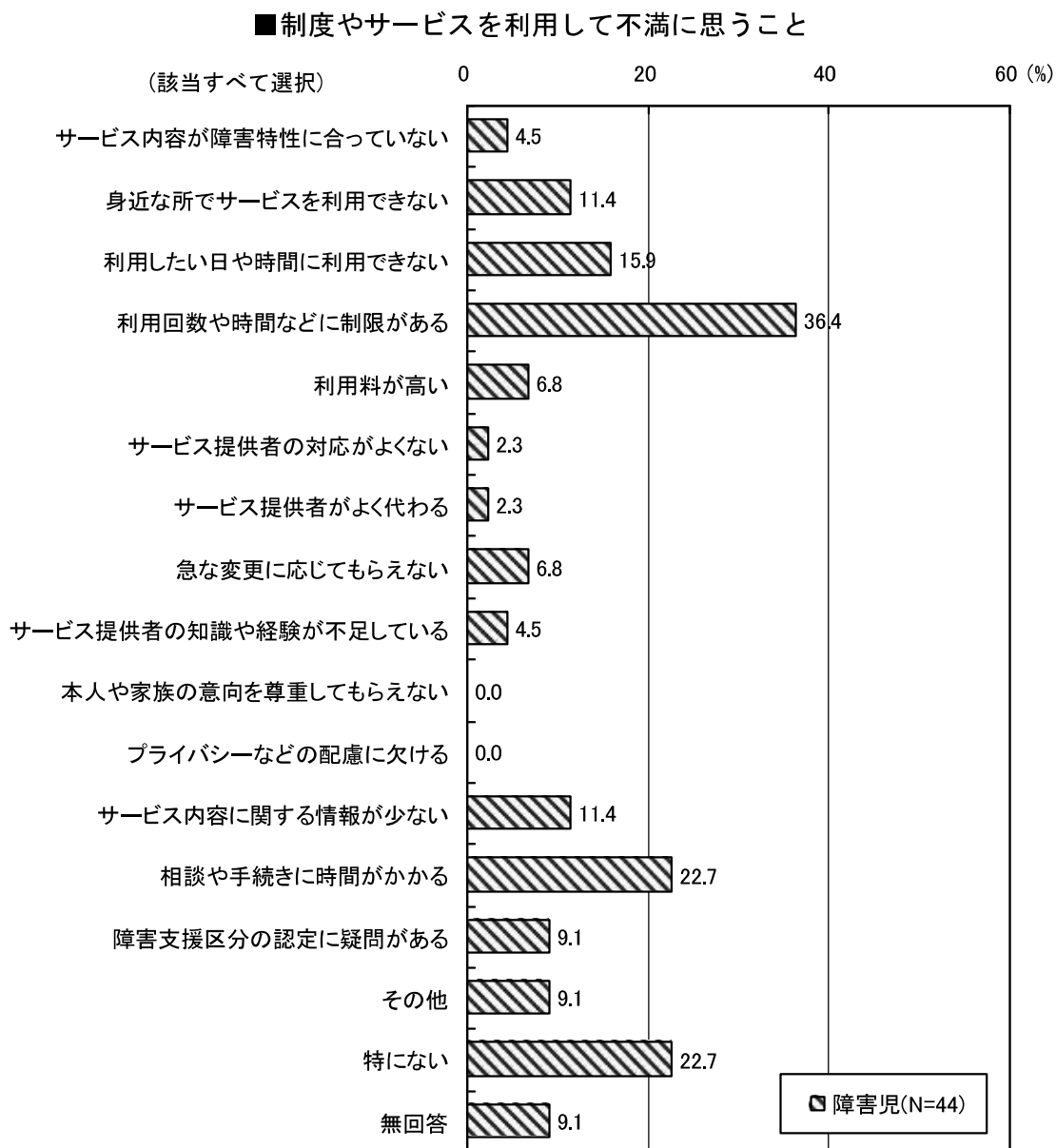
② 利用している制度やサービス

問32 問31で「1. 利用している」とお答えの方におたずねします。利用している制度やサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



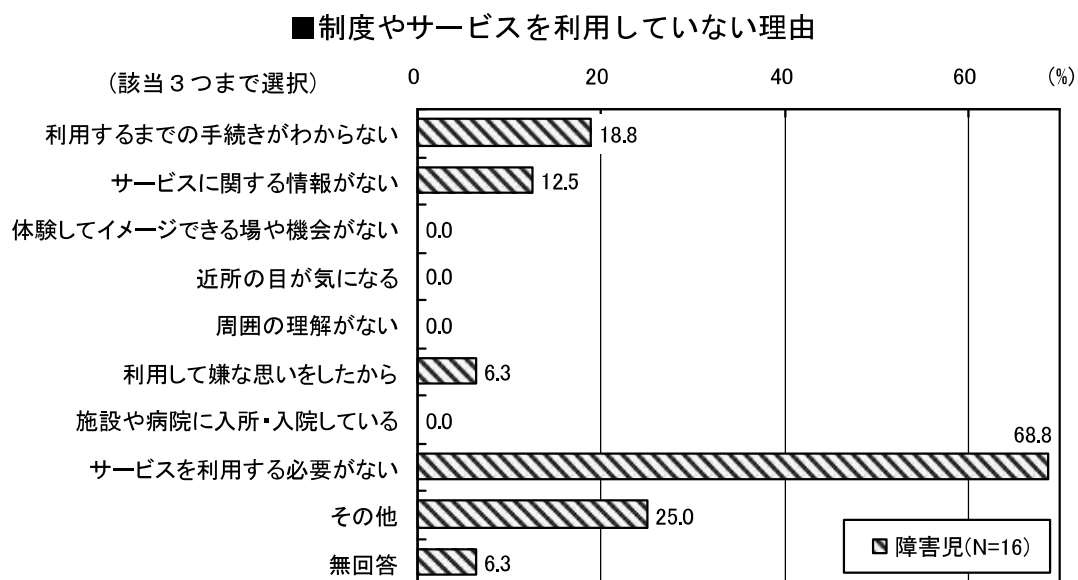
③ 制度やサービスを利用して不満に思うこと

問33 問31で「1. 利用したことがある」とお答えの方におたずねします。制度やサービスを利用して不満に思うことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)



④ 制度やサービスを利用していない理由

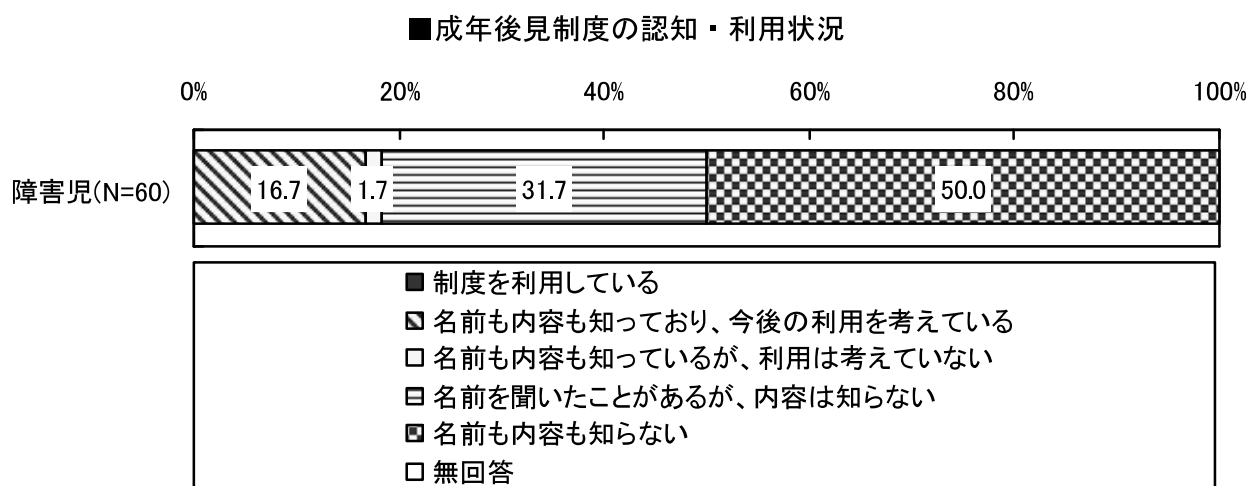
問34 問31で「2. 現在利用していない（以前利用したことがある）」「3. 知っているが、利用したことがない」「4. 知らなくて、利用したことがない」とお答えの方におたずねします。制度やサービスを利用していない理由は何ですか。（主なものを3つまでに○）



(2) 成年後見制度の認知・利用状況

- 成年後見制度について、「制度を利用している」は該当がなく、「名前も内容も知っており、今後の利用を考えている」が16.7%、「名前も内容も知っているが、利用は考えていない」が1.7%、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が31.7%で、【名前を知っている】は合わせて50.1%、【内容を知っている】は合わせて18.4%となっています。一方、「名前も内容も知らない」は50.0%で、半数となっています。

問35 アンケートの宛名のあなたは、成年後見制度をご存じですか。(1つだけ○)

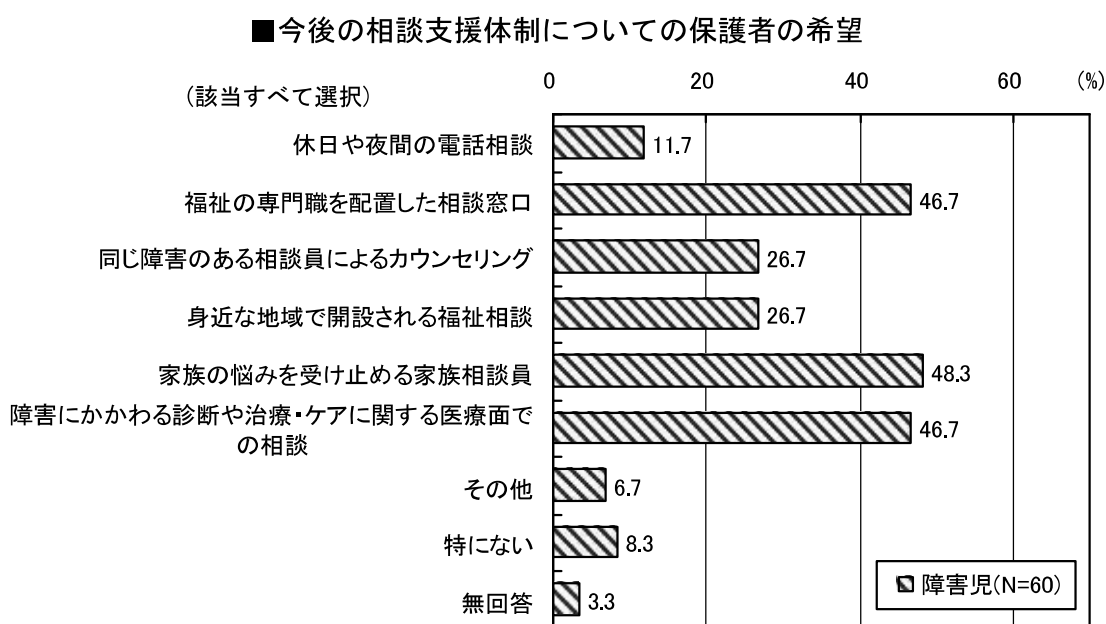


(3) 相談体制についての保護者の希望や子どもについて心配なことなど

- 今後の相談支援体制について保護者が希望することは、「家族の悩みを受け止める家族相談員」が48.3%で最も高く、次いで「福祉の専門職を配置した相談窓口」及び「障害にかかわる診断や治療・ケアに関する医療面での相談」がそれぞれ46.7%、「同じ障害のある相談員によるカウンセリング」及び「身近な地域で開設される福祉相談」がそれぞれ26.7%などとなっています。
- 現在、子どもについて困っていることや心配なことは、「家族がいなくなった時の生活」(71.7%)や「進学や訓練、就職などの進路」(68.3%)が高く、「主な介助者が病気や用事などの時の支援」が43.3%、「災害など緊急時の対応」が38.3%、「家族からの独立」が33.3%などと続きます。

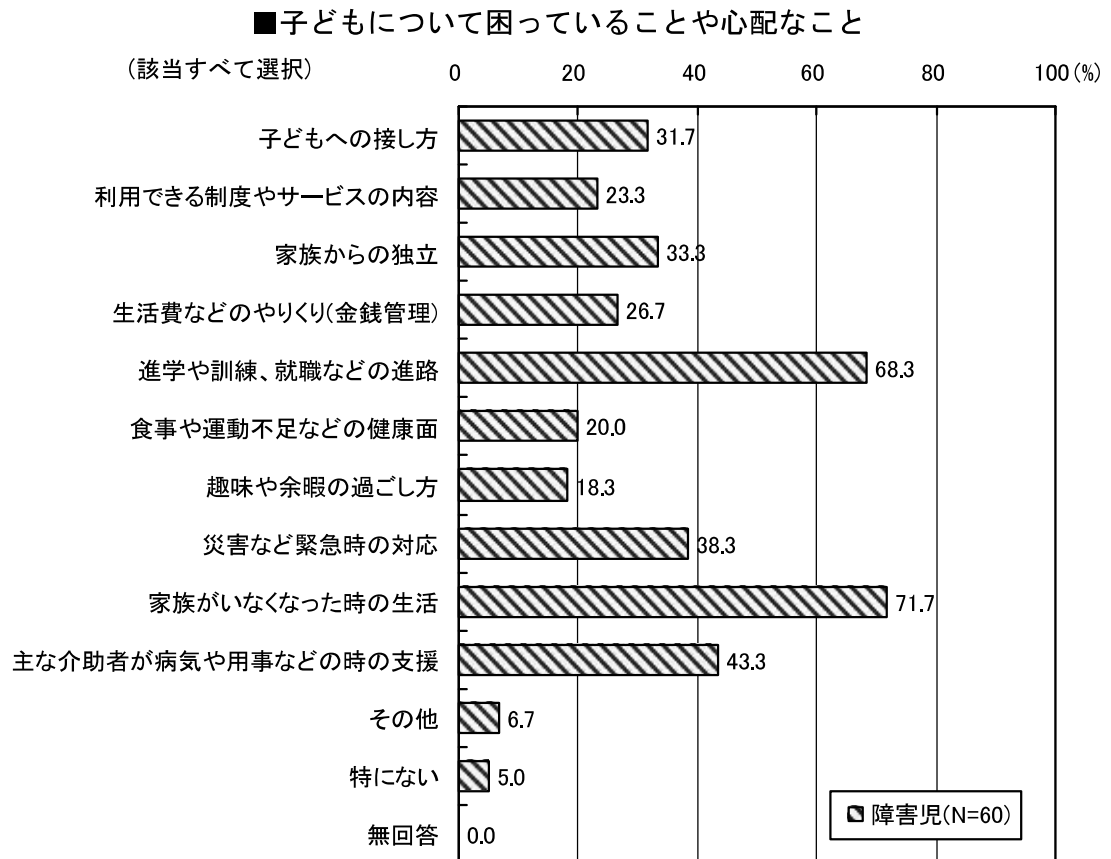
① 今後の相談支援体制についての保護者の希望

問36-① 保護者の方におたずねします。今後の相談支援体制について、どのようなことを希望されますか。(あてはまるものすべてに○)



② 子どもについて困っていることや心配なこと

問36-② 保護者の方におたずねします。現在、お子さんについて困っていることや心配に思っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)



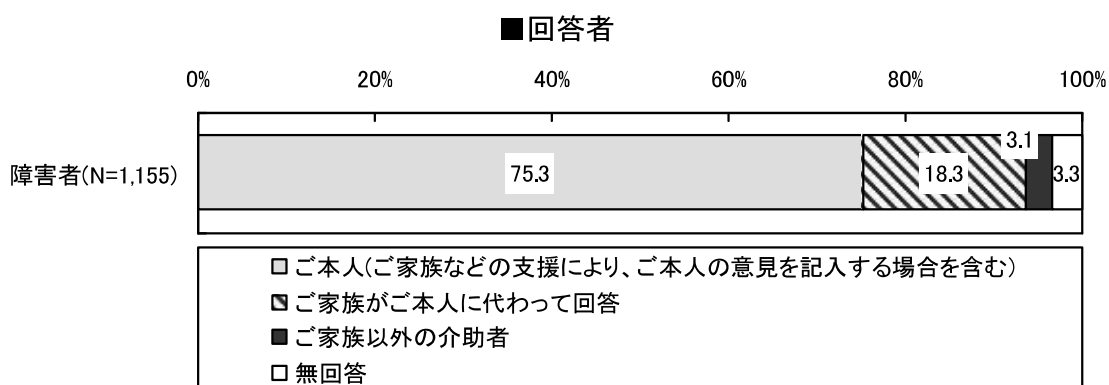
Ⅲ 18歳以上対象調査結果の概要

1 調査対象者や家族のことについて

- 回答者は、「ご本人（ご家族などの支援により、ご本人の意見を記入する場合を含む）」が75.3%、「ご家族がご本人に代わって回答」が18.3%、「ご家族以外の介助者」は3.1%となっています。
- 年齢は「70代」が32.0%で最も高く、「60代」が17.6%、「80歳以上」が15.3%などとなっています。年齢3区分別の構成は、18～39歳の「青年層」が10.2%、40～64歳の「壮年層」が29.5%、65歳以上の「高齢層」が58.4%で、「高齢層」が最も高くなっています
- 性別は、「女性」が50.9%、「男性」が47.5%で、大きな差はありません。
- 小学校区は、「旭」（7.2%）と最も高く、「大芝」（6.4%）、「八木南」（6.3%）、「山直北」（6.0%）、「春木」及び「大宮」（各5.7%）、「朝陽」（5.3%）、「常盤」（5.1%）が続き、その他の小学校区は5%を割っています。また、「わからない」が3.3%となっています。
- 現在の暮らしは、「ご家族と暮らしている」が70.7%で最も高く、「本人ひとりで暮らしている」が18.8%、「福祉施設で暮らしている」が3.9%、「病院に入院している」が2.7%、「グループホームで暮らしている」が1.5%、「その他」が0.7%となっています。

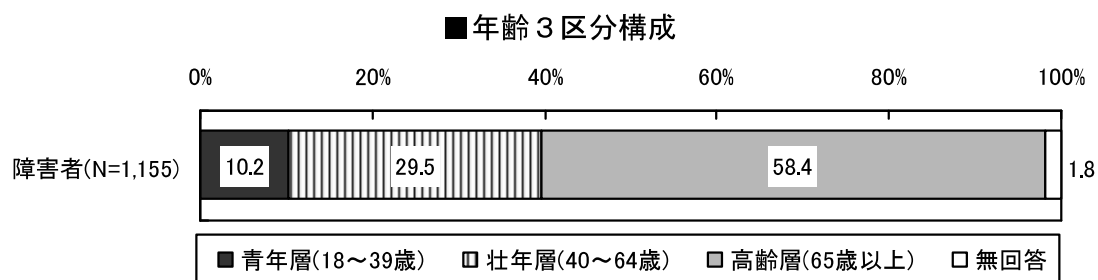
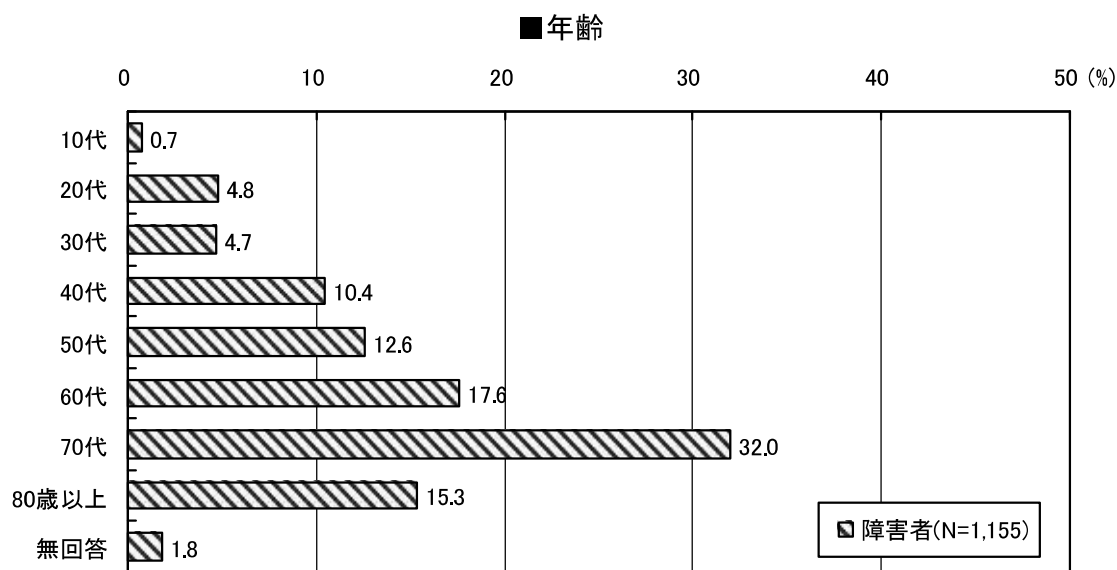
① 回答者

問1 このアンケートにお答えいただくのは、どなたですか。（1つだけ○）



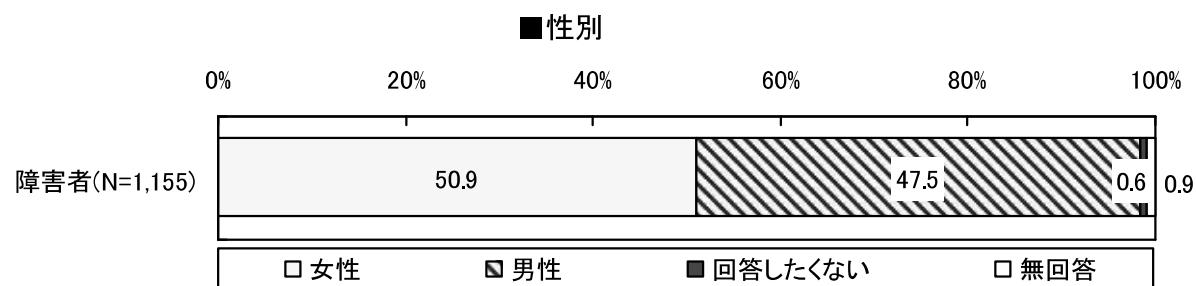
② 年齢

問2 アンケートの宛名のあなたの年齢をお答えください。(令和2年4月1日現在)



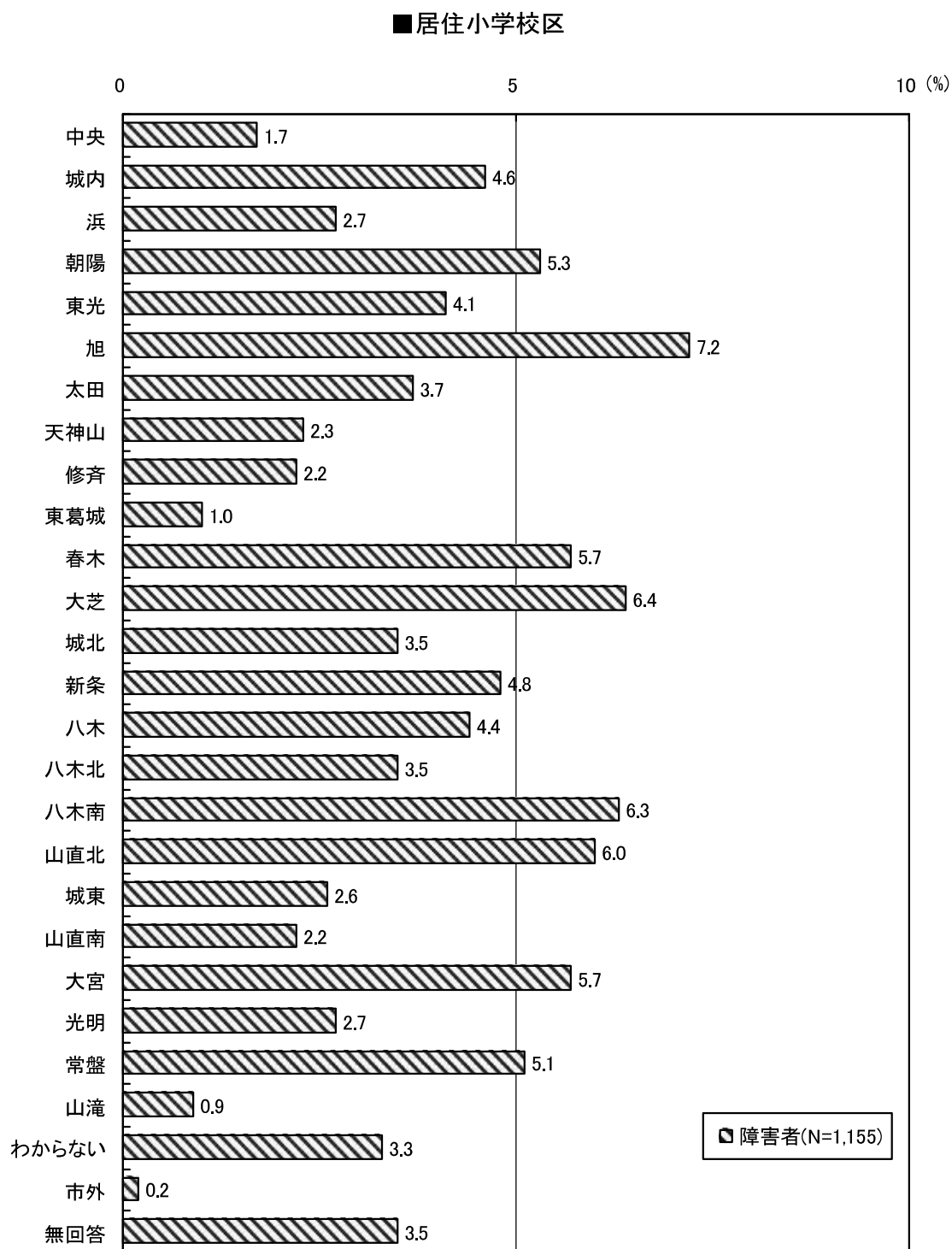
③ 性別

問3 アンケートの宛名のあなたの性別をお答えください。(どちらかに○印)



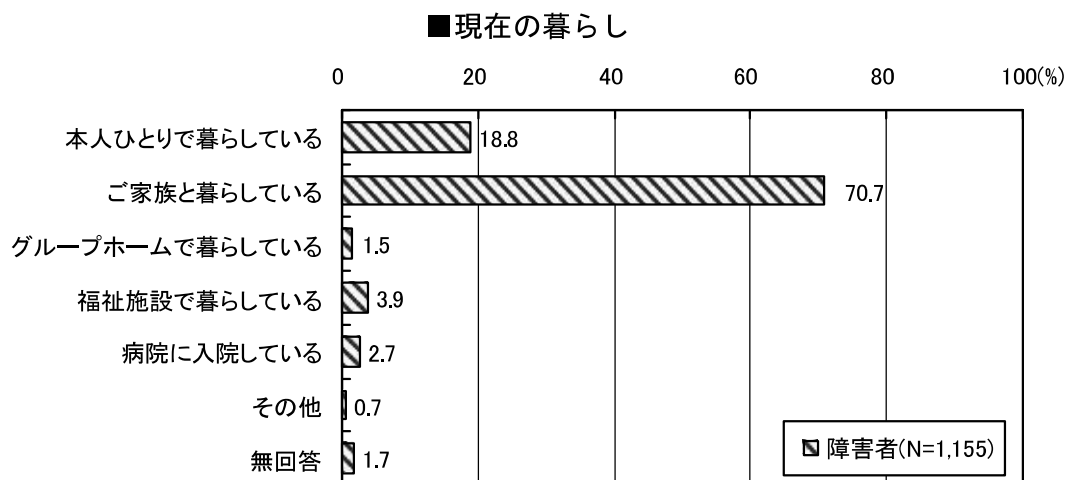
④ 居住小学校区

問4 アンケートの宛名のあなたがお住いの小学校区はどこですか。(1つだけ○)

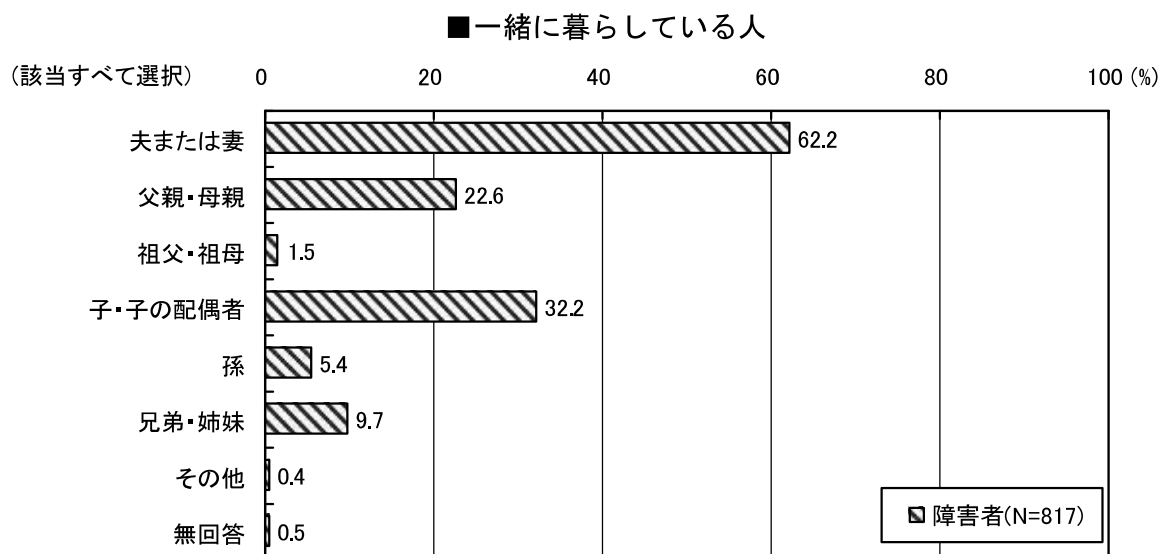


⑤ 現在の暮らし

問5 現在、アンケートの宛名のあなたは、どのように暮らしていますか。
(1つだけ○印)



問5-① 「2. ご家族と暮らしている」とお答えの方におたずねします。一緒に暮らしている人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)



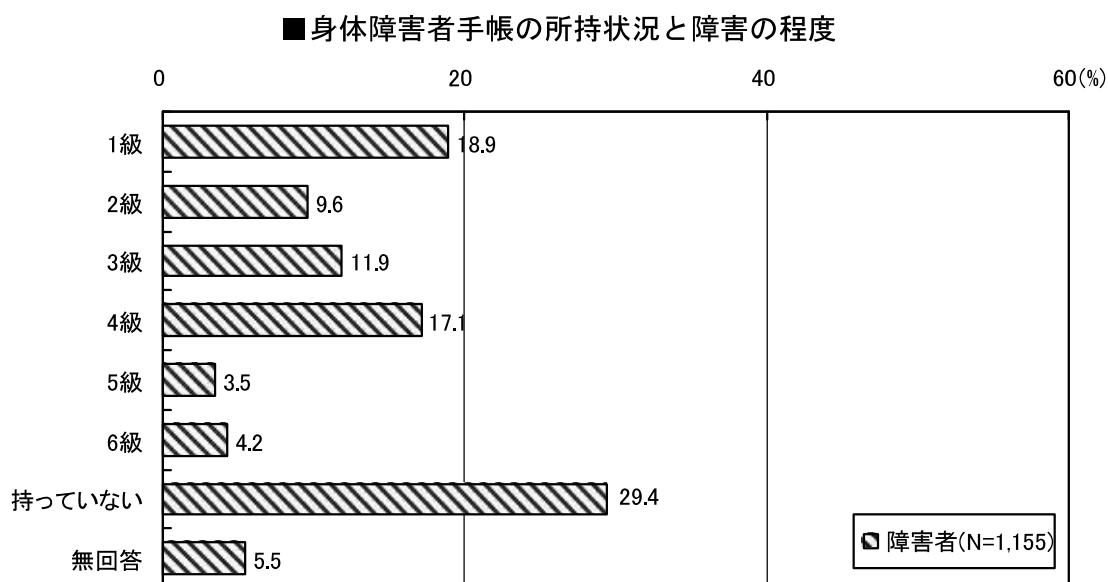
2 障害の状況について

(1) 障害者手帳所持の状況

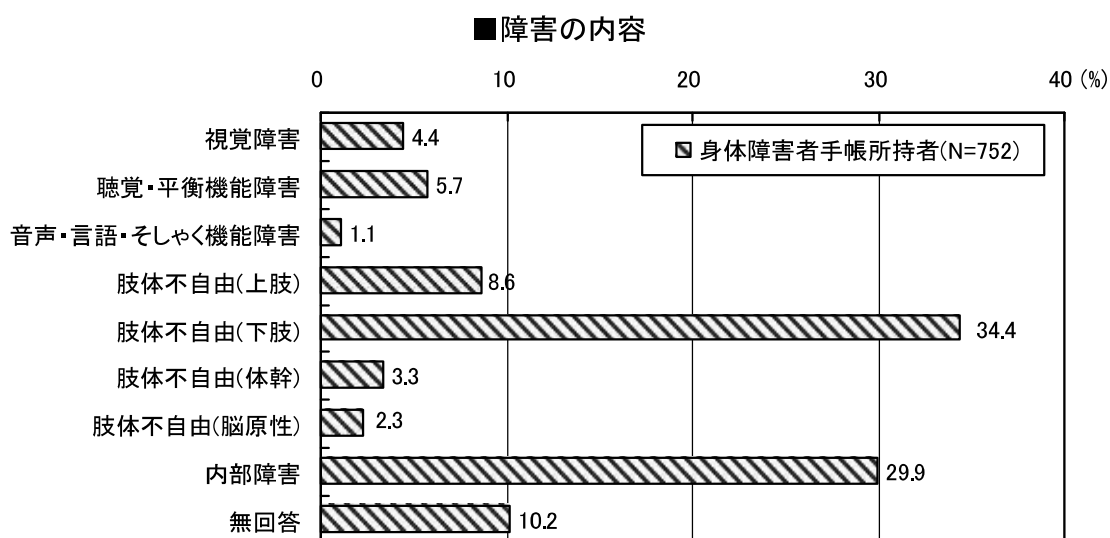
- 身体障害者手帳所持者は、「持っていない」の29.4%と無回答の5.5%を除いた65.1%となっています。身体障害者手帳所持者の障害の程度は、「1級」(18.9%)及び「2級」(9.6%)の重度が28.5%となっています。
- 身体障害者手帳所持者の障害の内容は、「肢体不自由(下肢)」が34.4%で最も高く、次いで「内部障害」(29.9%)、「肢体不自由(上肢)」(8.6%)、「聴覚・平衡機能障害」(5.7%)などとなっています。
- 療育手帳所持者は、「持っていない」の79.7%と無回答の9.5%を除いた10.8%となっています。療育手帳所持者の障害の程度は、重度の「A判定」が4.8%、「B1判定」が3.2%、「B2判定」が2.7%となっています。
- 精神障害者保健福祉手帳所持者は、「持っていない」の78.6%と無回答の7.3%を除いた14.1%となっています。精神障害者保健福祉手帳所持者の障害の程度は、重度の「1級」が1.8%、「2級」が8.0%、「3級」が4.3%となっています。
- 手帳の所持状況から障害種別をみると、「身体障害のみ」が54.1%、「知的障害のみ」が5.4%、「精神障害のみ」が6.7%、「重複障害」が10.4%、「手帳なし」が14.5%、無回答が8.9%となっています。

① 身体障害者手帳の所持状況と障害の程度、障害の内容

問6 アンケートの宛名のあなたは、身体障害者手帳をお持ちですか。(1つだけ○)

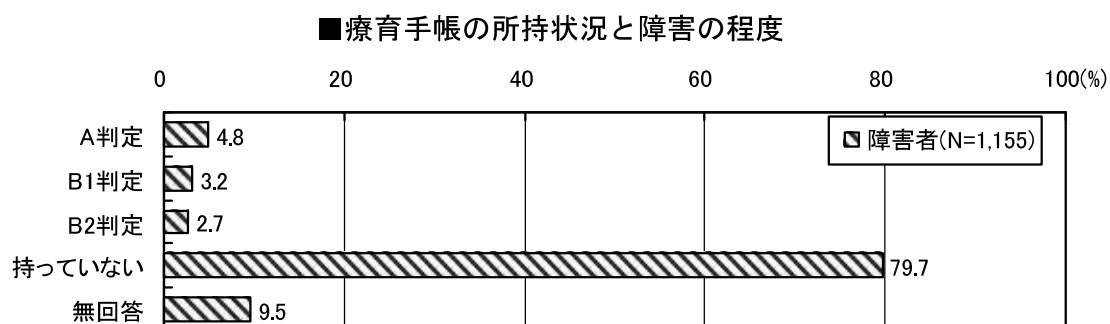


問7 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。主な障害をお答えください。
複数の障害認定を受けている場合は、手帳の等級が最も高い（障害の程度が重い）ものに1つだけ○をつけてください。



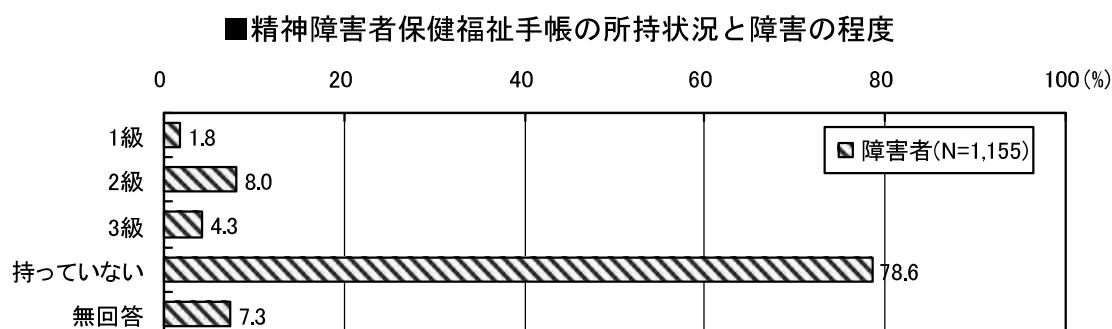
② 療育手帳の所持状況と障害の程度

問8 アンケートの宛名のあなたは、療育手帳をお持ちですか。（1つだけ○）

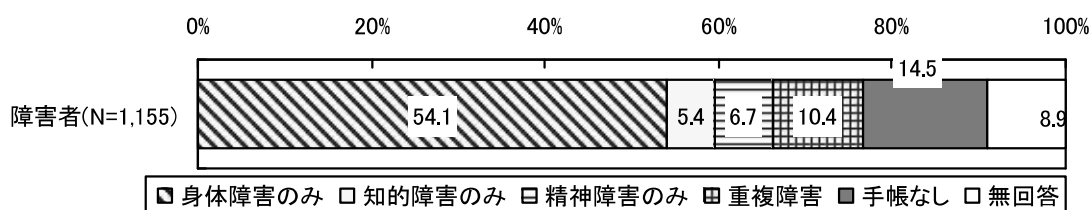


③ 精神障害者保健福祉手帳の所持状況と障害の程度

問9 アンケートの宛名のあなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。（1つだけ○）



④ 障害の種類

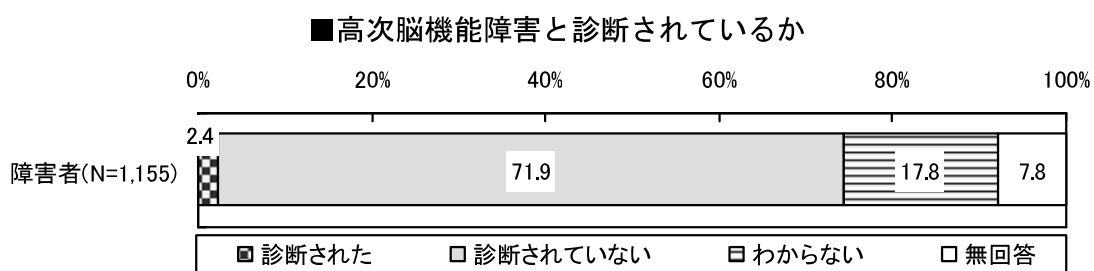


(2) 高次脳機能障害、難病、発達障害の状況

- 高次脳機能障害として、「診断された」は2.4%、「診断されていない」が71.9%、「わからない」が17.8%となっています。
- 難病の認定について、「受けている」は7.4%、「受けていない」が77.0%、「わからない」が9.1%となっています。
- 発達障害として、「診断された」は5.6%、「診断されていない」が80.3%、「わからない」が6.6%となっています。
- 診断・判定の内容は、「自閉症スペクトラム（自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害）」が61.5%、「学習障害（LD）」及び「その他」が各16.9%、「注意欠陥多動性障害（AD／HD）」が10.8%となっています。

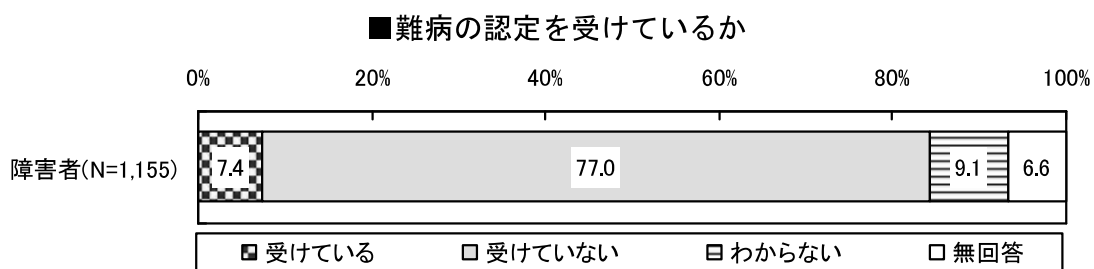
① 高次脳機能障害と診断されているか

問10 アンケートの宛名のあなたは、高次脳機能障害と診断されていますか。（1つだけ○）



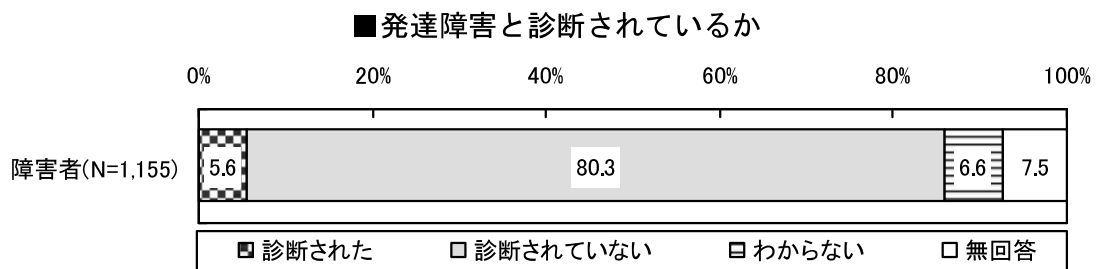
② 難病の認定を受けているか

問11 アンケートの宛名のあなたは、難病の認定を受けていますか。（1つだけ○）

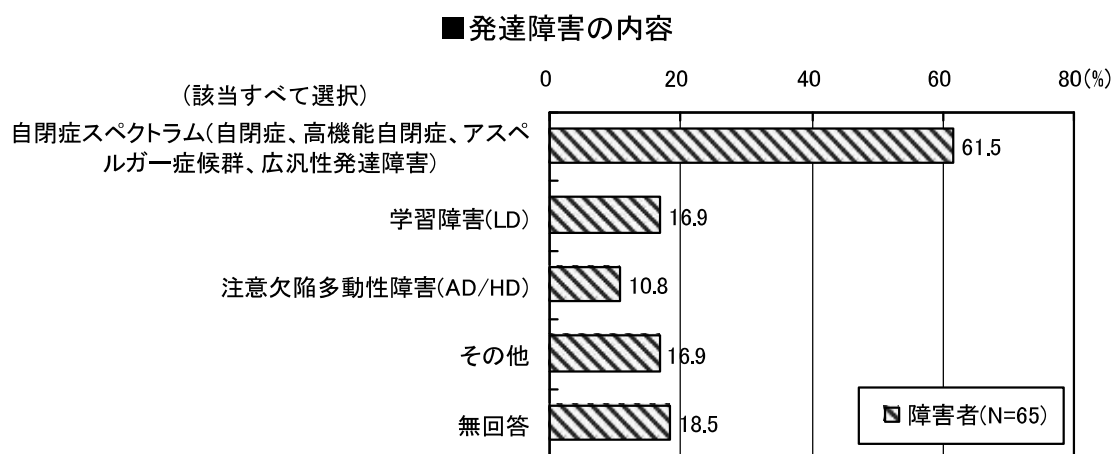


③ 発達障害と診断されているか

問12 アンケートの宛名のあなたは、発達障害と診断されていますか。(1つだけ○)



④ 診断・判定の内容

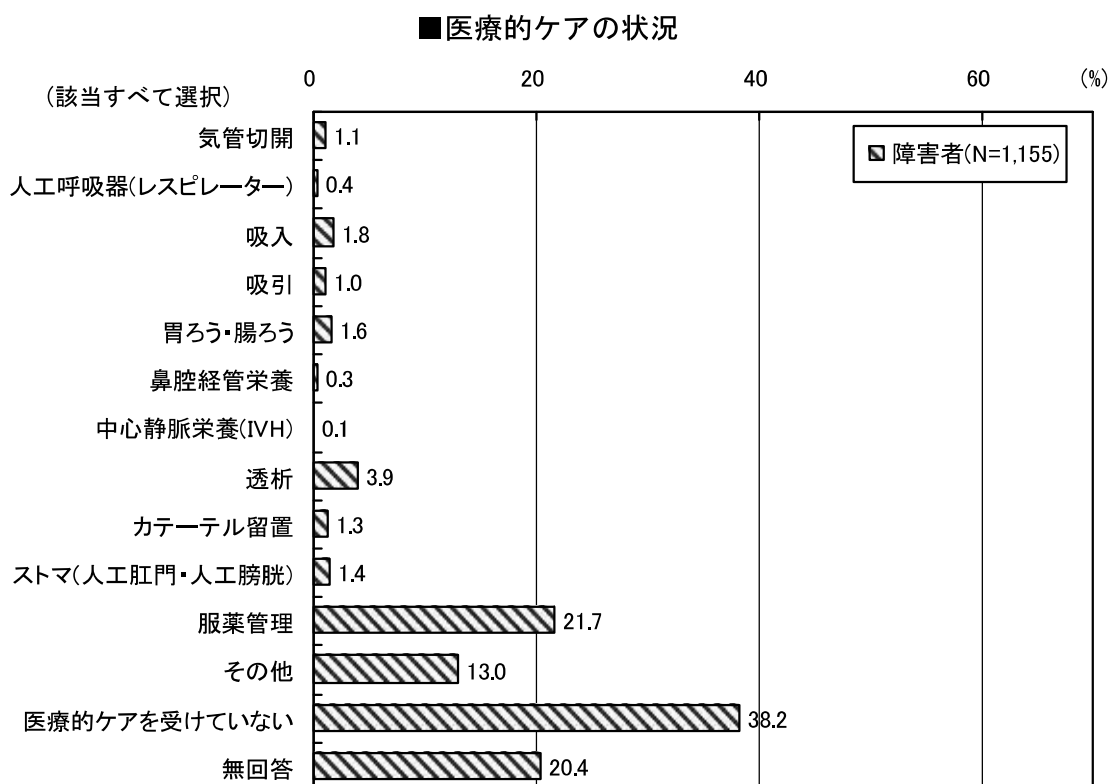


(3) 医療との関係

- 医療的ケアを受けている人は、「医療的ケアを受けていない」の38.2%と無回答の20.4%を除いた41.4%となっています。
- 受けているケアで最も高いのが「服薬管理」で21.7%、次いで「その他」が13.0%、「透析」が3.9%で、これ以外は3%を割っています。
- 夜間や休日に急に具合が悪くなったことがある人は、「夜間や休日に急に具合が悪くなったことはない」の39.5%と無回答の11.0%を除いた49.5%となっています。対応としては、「救急車を呼んで病院にみてもらった」が19.2%で最も高く、「かかりつけ医にすぐにみてもらった」が13.1%、「その他」が4.8%などとなっています。一方、【我慢した】は「処方された薬などを服用して我慢した」が11.9%、「病院や診療所の診察が始まるまで我慢した」が8.7%、「何もしないで我慢した」が4.9%となっています。

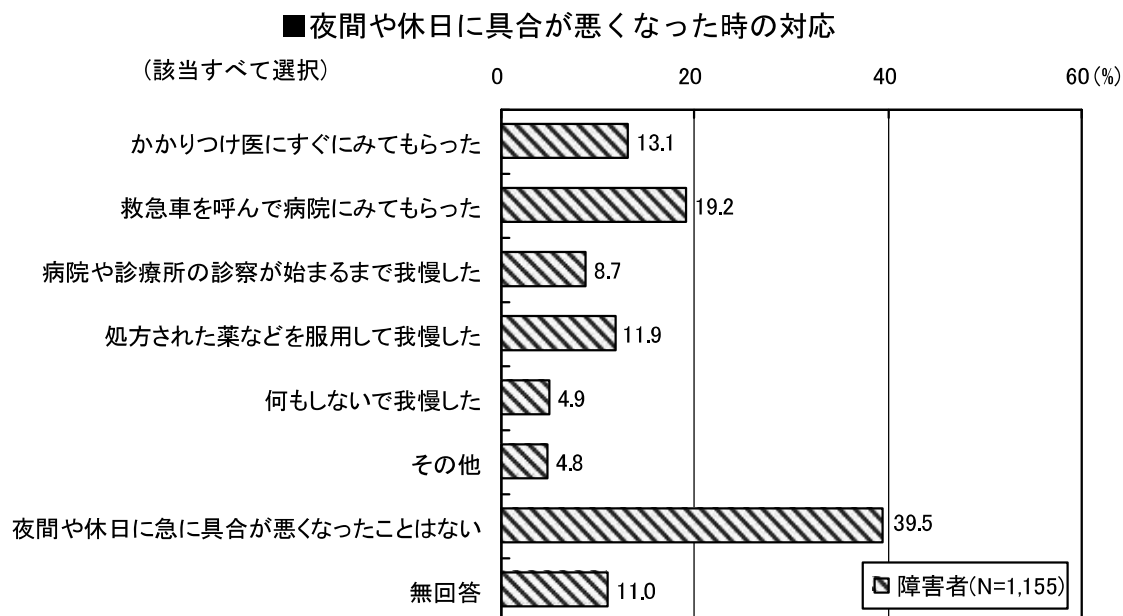
① 医療的ケアの状況

問13 アンケートの宛名のあなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。
(あてはまるものすべてに○)



② 夜間や休日に具合が悪くなった時の対応

問14 アンケートの宛名のあなたは、ご自身の障害のことで夜間や休日に急に具合が悪くなった時、どのような対応をとりましたか。(あてはまるものすべてに○)



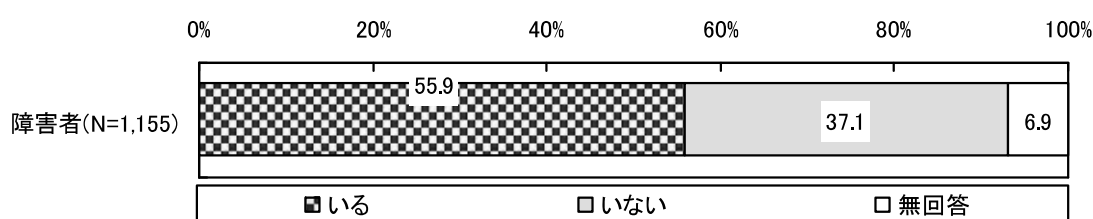
3 在宅時の介助について

(1) 介助者について

- 在宅時の生活支援をしてくれる介助者が「いる」方は55.9%、「いない」方は37.1%となっています。
- 主な介助者は、「夫または妻」が46.6%で最も高く、次いで「父母・祖父母・兄弟・姉妹」(18.3%)、「子どもや子どもの配偶者」(13.2%)、「ホームヘルパーなどのサービス事業所の人」(10.5%)が続きます。
- 主な介助者の年齢は「40～64歳」が33.9%で最も高く、次いで「65～74歳」が30.3%、「75歳以上」が19.8%となっています。介助者の半数が高齢者となっています。
- 介助の時間については、「1時間未満」が27.2%で最も高いですが、「無回答」を除くと、次いで「常時」が19.0%が続きます。

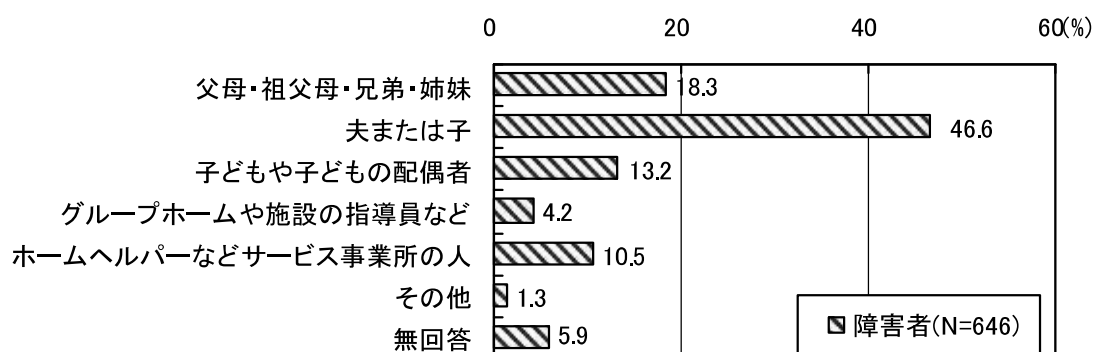
① 在宅時の介助について

問15 アンケートの宛名のあなたには在宅生活を支援してくれる介助者がいますか。
(1つだけ○)



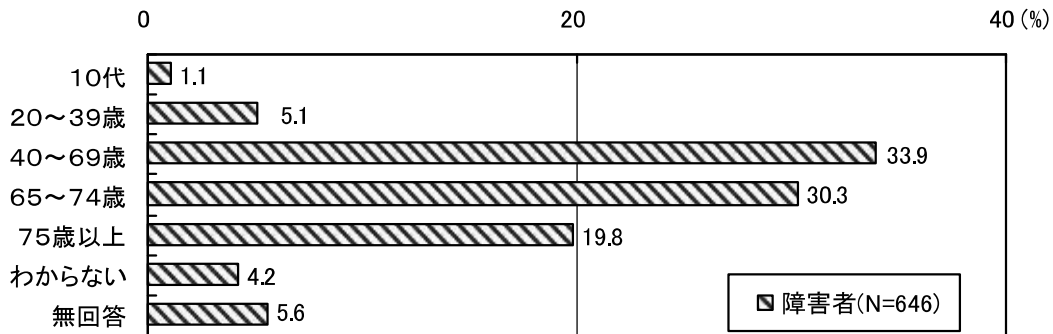
② 主な介助者について

問16 問15で「1. いる」とお答えの方におたずねします。アンケートの宛名のあなたの主な介助者はどなたですか。(1つだけ○)



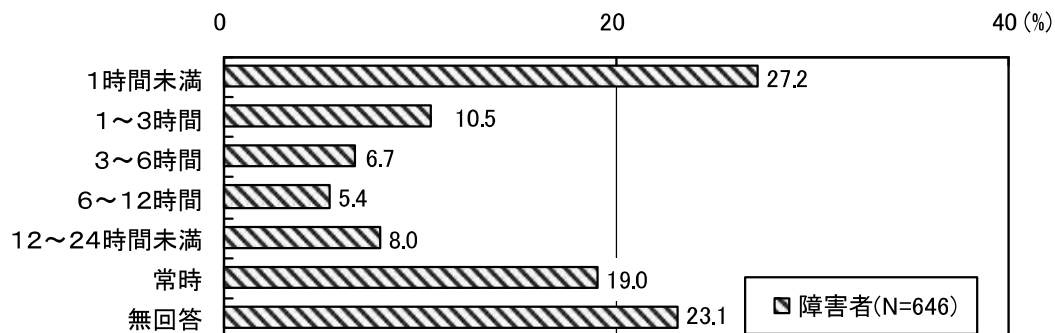
③ 介助者の年齢について

問17 アンケートの宛名のあなたの主な介助者の年齢をお答えください。(令和2年4月1日現在)



④ 介助の時間について

問18 アンケートの宛名のあなたは、1日平均何時間くらい介助や見守りを受けていますか。(1つだけ○)



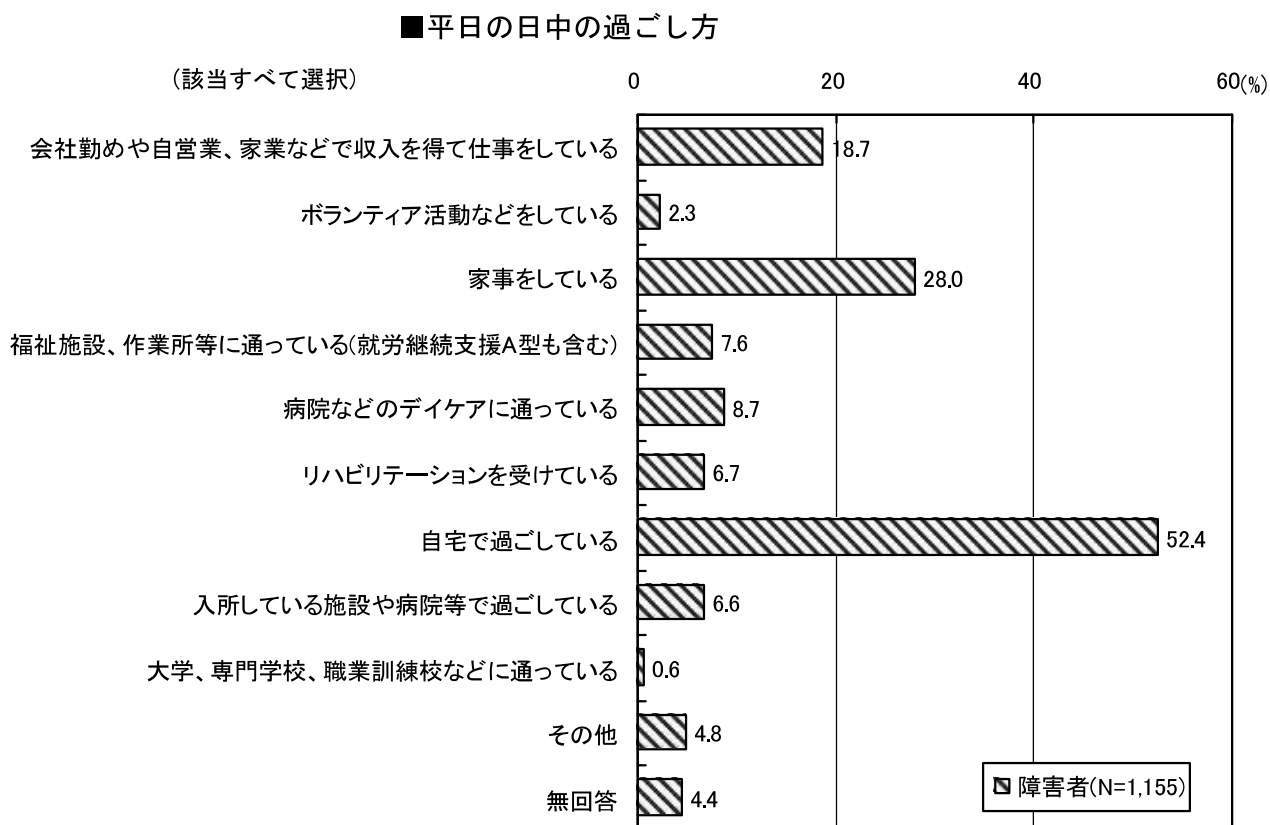
4 普段の生活について

(1) 日中の過ごし方

- 平日の日中の過ごし方としては、「自宅で過ごしている」が52.4%で最も高く、次いで「家事をしている」が28.0%、「会社勤めや自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が18.7%、「病院などのデイケアに通っている」が8.7%などとなっています。
- 「仕事をしている」場合の仕事の形態は、「パート・アルバイト等の非常勤社員、派遣社員」が36.1%で最も高く、次いで「正社員で他の社員と勤務条件等に違いはない」が34.7%、「自営業、農林水産業など」が16.7%、「その他」が6.9%などとなっています。
- 未就労者の就労意向では、「仕事をしたい」が18.0%、「仕事をしたくない」が12.4%、「できない」が55.4%と半数を超えています。
- 仕事をするため、またはスキルアップするため、職業訓練を受けたいかどうかでは、「すでに職業訓練を受けている」が3.2%で、「職業訓練を受けたい」は12.4%となっています。
- 障害のある人の就労支援として必要なことは、「職場の上司や同僚に障害の理解があること」が37.4%で最も高く、次いで「家族の理解、協力」(24.8%)、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」(24.2%)、「通勤手段の確保」(23.7%)などが僅差で続きます。
- 日常生活で困っていることは、「特にない」の20.2%と無回答の9.2%を除いた70.6%があげていて、その中では「自分の健康のこと」が45.5%で最も高く、次いで「老後のこと」(33.4%)、「自分や家庭の経済問題」(21.2%)、「通院や外出」(19.7%)、「介助者の健康や高齢化」(18.6%)などとなっています。

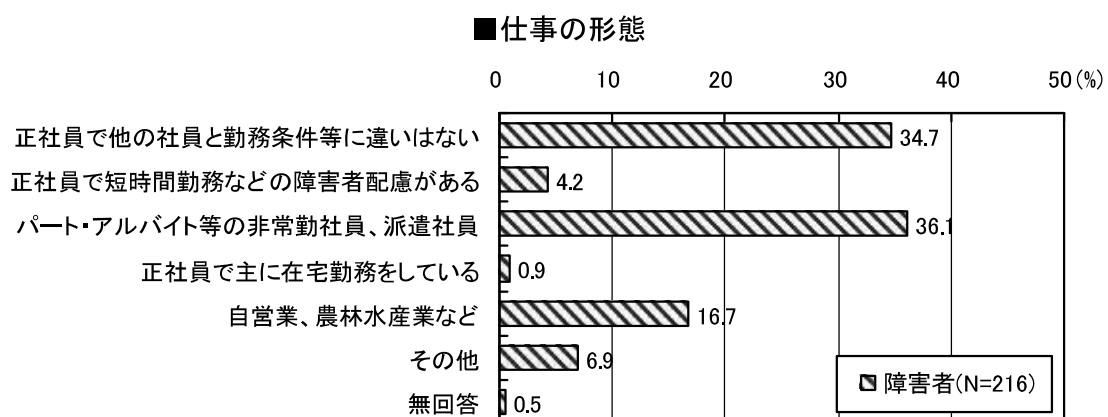
① 平日の日中の過ごし方

問19 アンケートの宛名のあなたは、平日の日中をどのように過ごしていますか。
(あてはまるものすべてに○印)



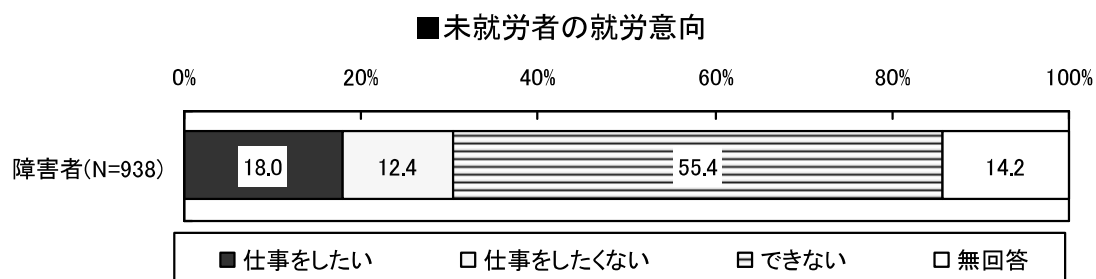
② 仕事の形態

問20 問19で「1. 会社勤めや自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」とお答えの方におたずねします。あなたはどのような形態で働いていますか。
(1つだけ○)



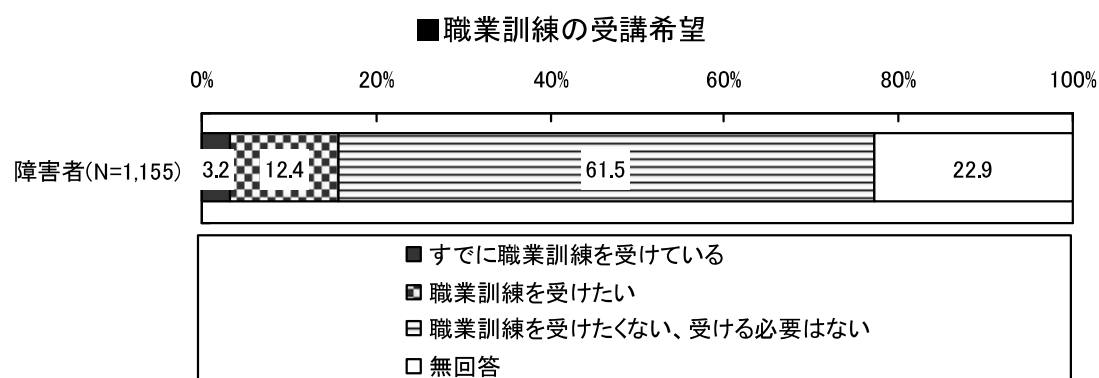
③ 未就労者の就労意向

問21 問19で「1. 会社勤めや自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」以外で「2」～「10」のみをお答えの方におたずねします。あなたは今後収入を得る仕事をしたいと思いますか。（1つだけ○）



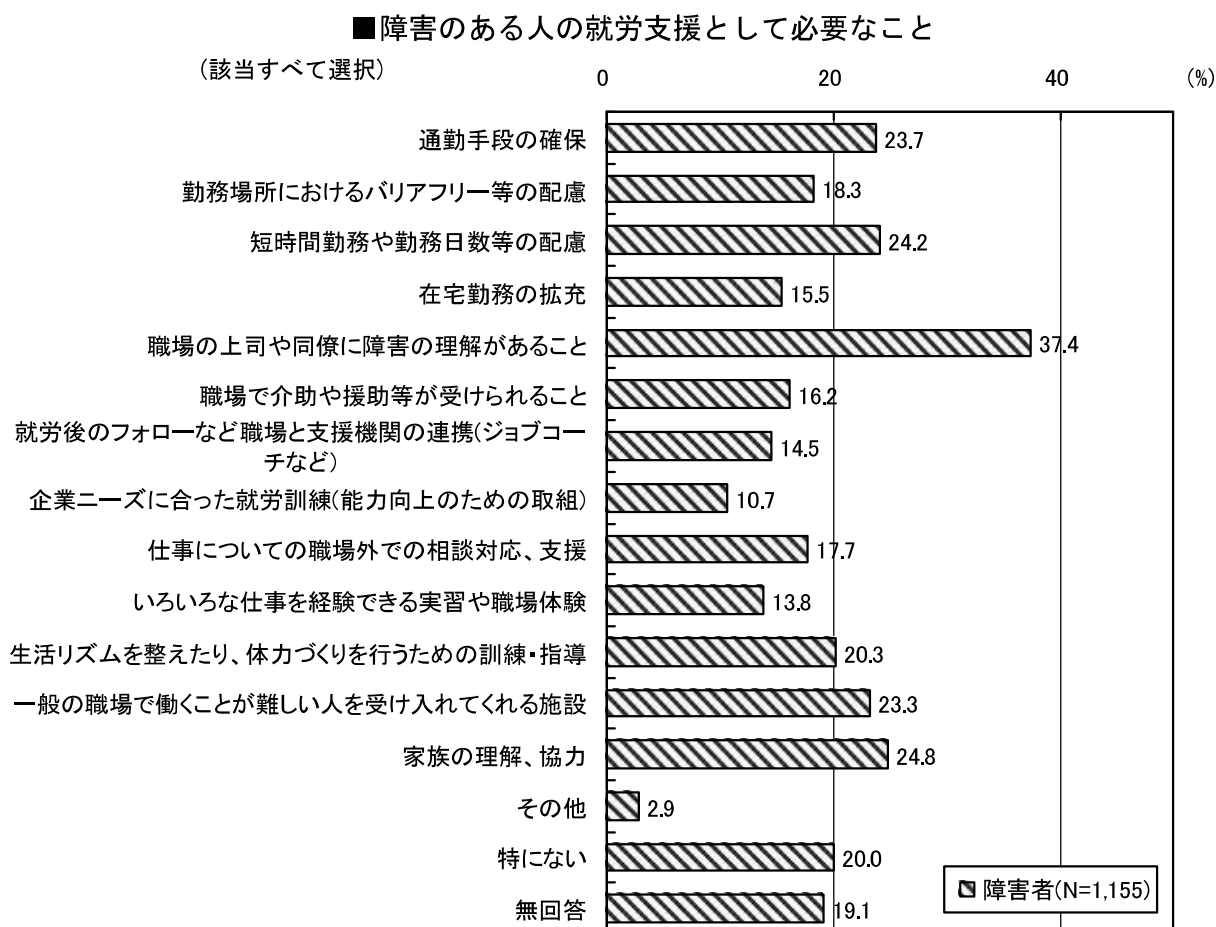
④ 職業訓練の受講希望

問22 アンケートの宛名のすべての方におたずねします。仕事をするために、またはスキルアップするために、職業訓練などを受けたいと思いますか。（1つだけ○）



⑤ 障害のある人の就労支援として必要なこと

問23 アンケートの宛名のあなたは、障害のある人の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

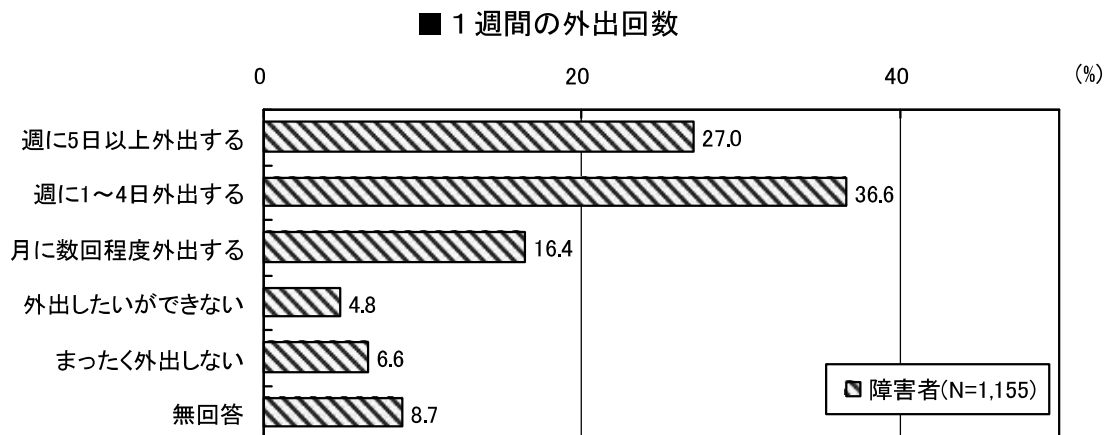


(2) 外出について

- 1週間に外出する頻度は、「週に5日以上外出する」が27.0%、「週に1～4日外出する」が36.6%、「月に数回程度外出する」が16.4%で、【外出する】は合わせて80.0%となっています。一方、「外出したいができない」が4.8%、「まったく外出しない」が6.6%となっています。
- 外出する際、「一人で外出する」が68.7%となっています。一方、同行者がいる場合は「夫または妻」が30.6%、「子どもや子どもの配偶者」が15.9%、「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が13.1%、「ホームヘルパーなどサービス事業所の人」が8.2%、「グループホームや施設の指導員など」が3.9%などとなっています。
- 外出の時に困ることは、「特にない」の31.2%と無回答の8.2%を除いた60.6%があげていて、「休憩できる場所が少ない（身近な公園や歩道のベンチなど）」が21.3%、「道路や駅に階段や段差が多い」が16.7%、「外出にお金がかかる」が14.7%、「困った時にどうすればいいのか心配」が14.5%などとなっています。

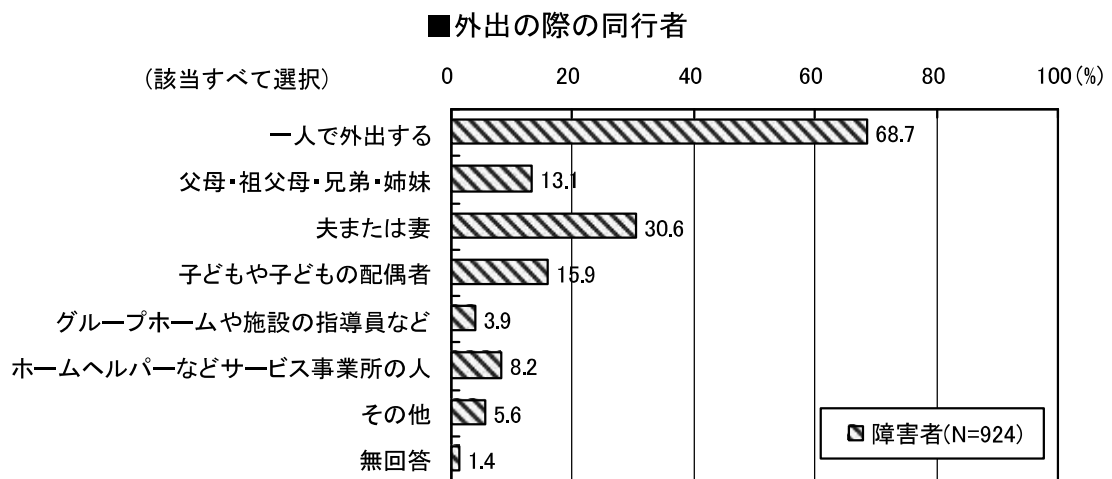
① 1週間の外出回数

問24 アンケートの宛名のあなたは、通学、通勤なども含め、1週間にどの程度外出しますか。（1つだけ○）



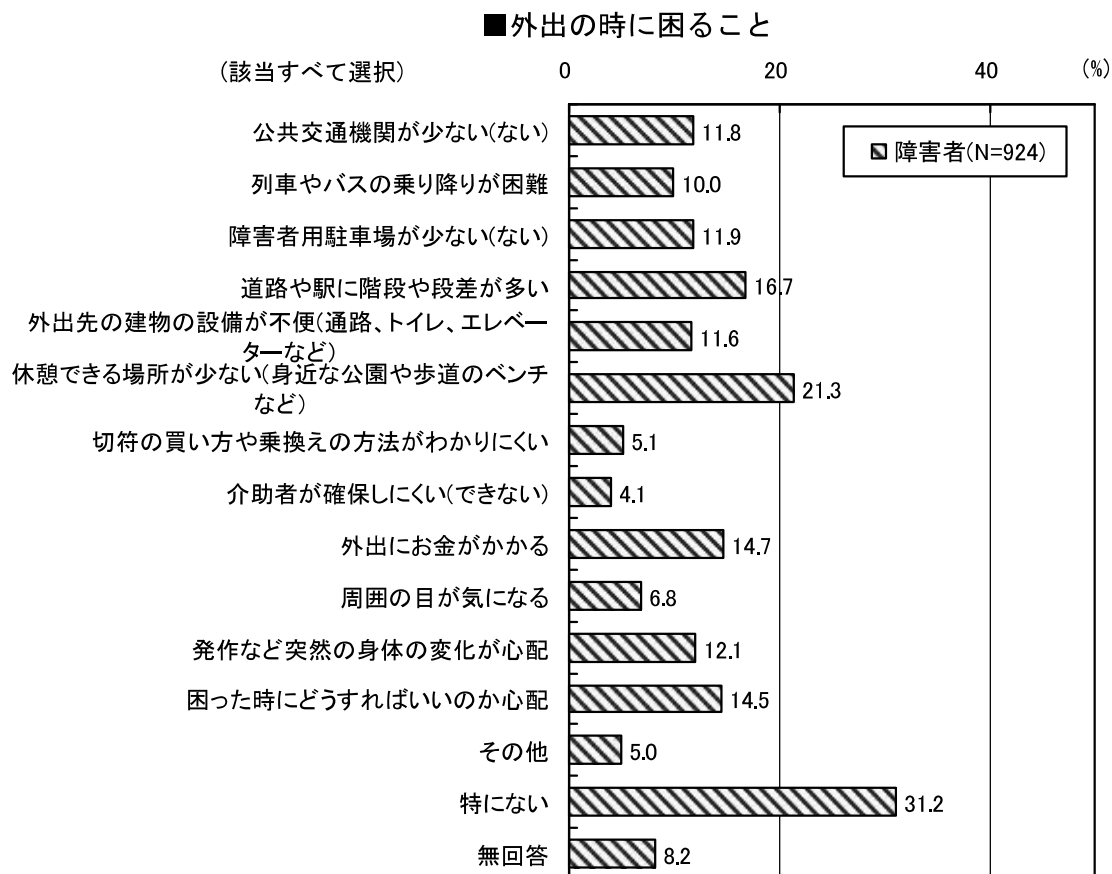
② 外出の際の同行者

問25 問24で「1. 週に5日以上外出する」「2. 週に1～4日外出する」「3. 月に数回程度外出する」とお答えの方におたずねします。あなたは、外出する際に誰と外出しますか。(あてはまるものすべてに○)



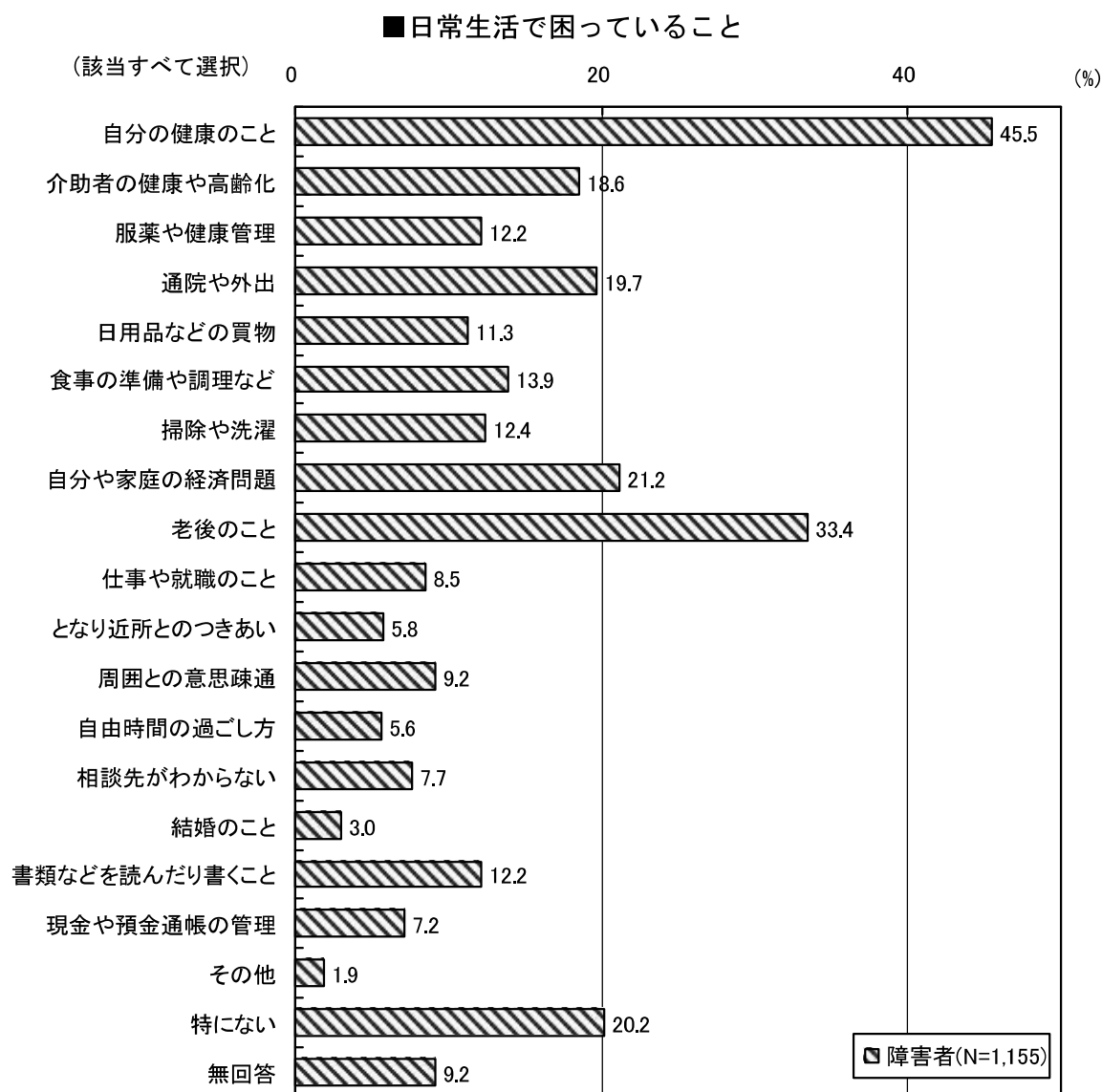
③ 外出の時に困ること

問26 問24で「1. 週に5日以上外出する」「2. 週に1～4日外出する」「3. 月に数回程度外出する」とお答えの方におたずねします。あなたが外出の時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



④ 日常生活で困っていること

問27 アンケートの宛名のあなたは、日常生活で何か困っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)



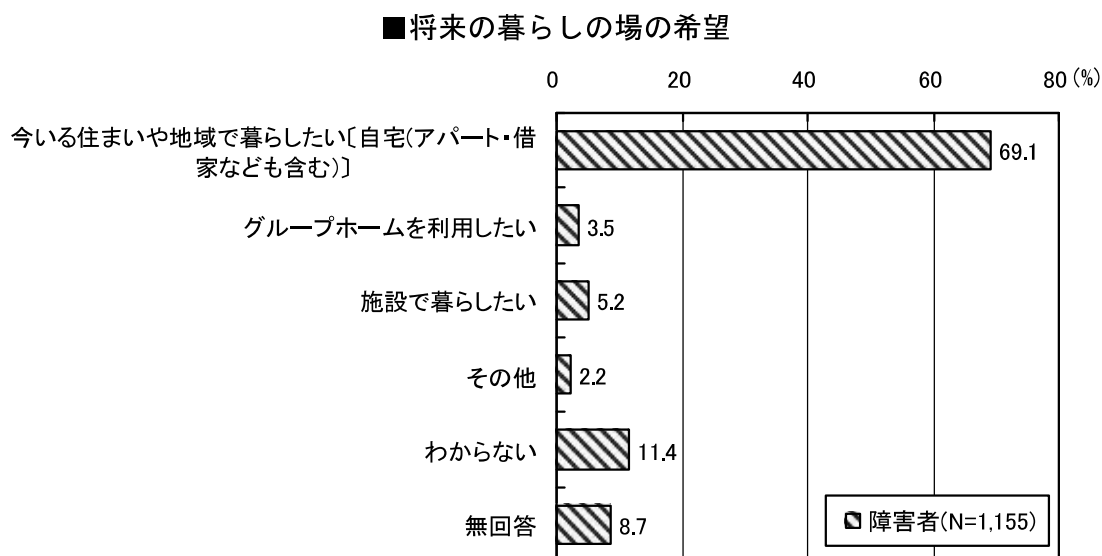
5 将来の暮らしについて

(1) 暮らしの場

- 将来の暮らしの場の希望は、「今いる住まいや地域で暮らしたい〔自宅(アパート・借家なども含む)〕」が69.1%、「グループホームを利用したい」が3.5%で、【在宅】が合わせて72.6%、「施設で暮らしたい」が5.2%、「その他」が2.2%となっています。また、「わからない」が11.4%となっています。
- 在宅を希望する場合の支援としては、「経済的な負担の軽減」が43.1%で最も高く、次いで「在宅で医療的ケアなどが適切に得られること」が39.7%、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が38.8%などとなっています。
- 「経済的な負担の軽減」については、「公共料金(電気・ガス・水道など)」(64.5%)が最も高く、次いで「医療費」(59.6%)、「各種税金」(55.4%)、「タクシー代等交通費」(38.2%)などと続きます。

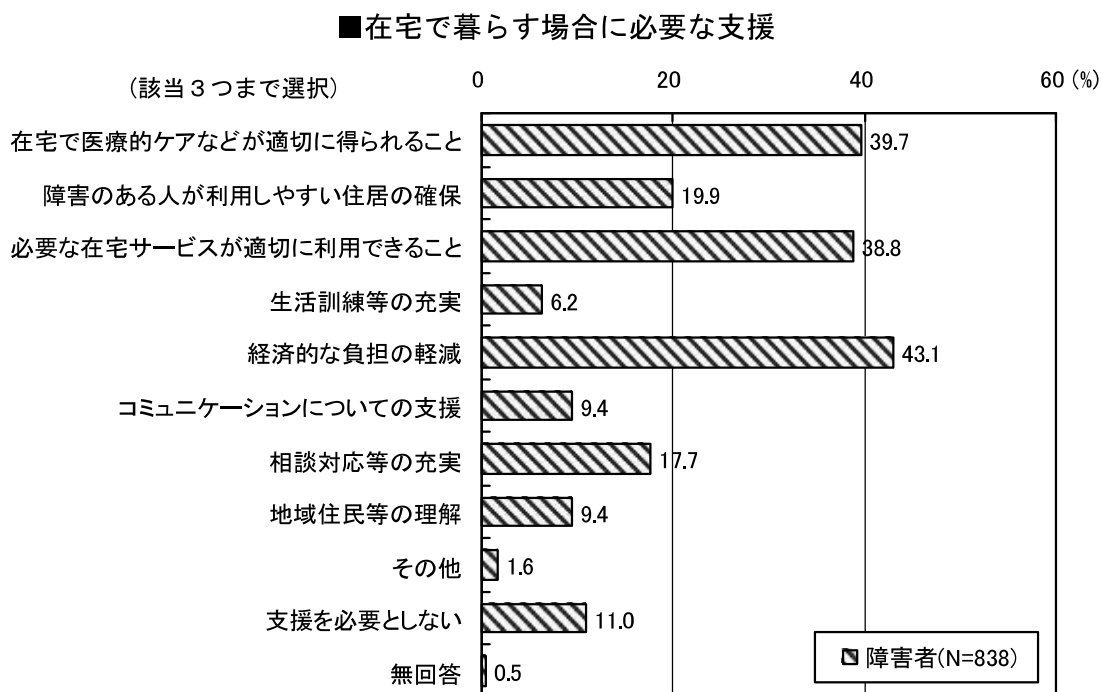
① 将来の暮らしの場の希望

問28 アンケートの宛名のあなたは、将来どのように暮らしたいと思いますか。
(1つに○印)



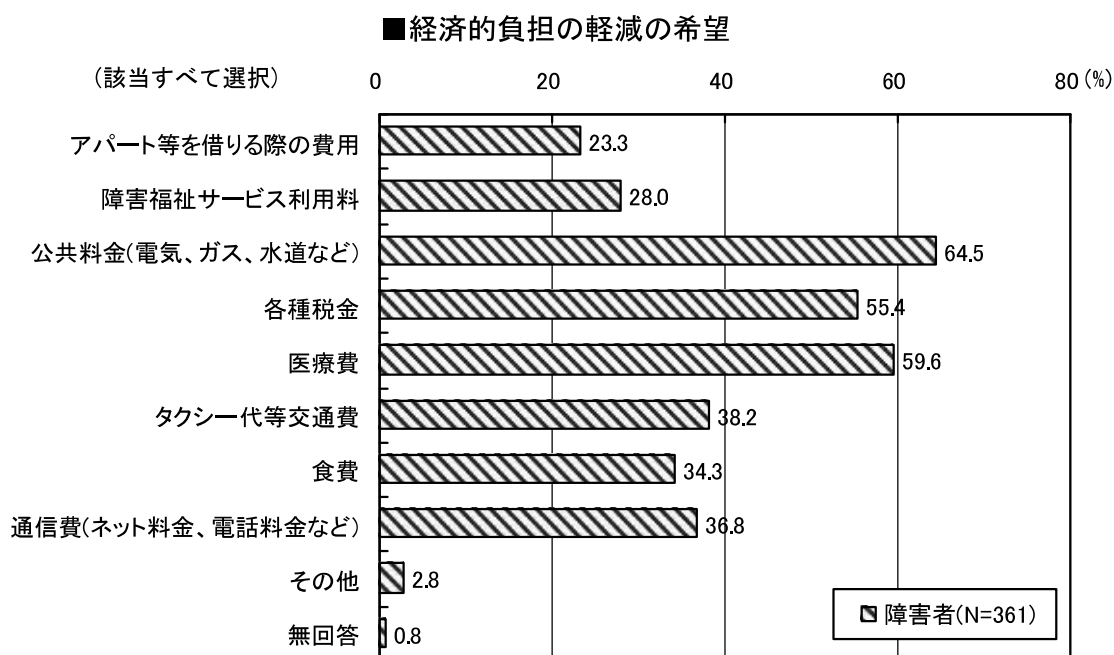
② 在宅で暮らす場合に必要な支援

問29 問28で「1. 今いる住まいや地域で暮らしたい〔自宅(アパート・借家なども含む)〕または「2. グループホームを利用したい」とお答えの方におたずねします。在宅で暮らす場合、どのような支援があればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)



③ 経済的負担の軽減の希望

問30 問29で「5. 経済的な負担の軽減」とお答えの方におたずねします。あなたは、どのような経済的負担の軽減があればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○印)



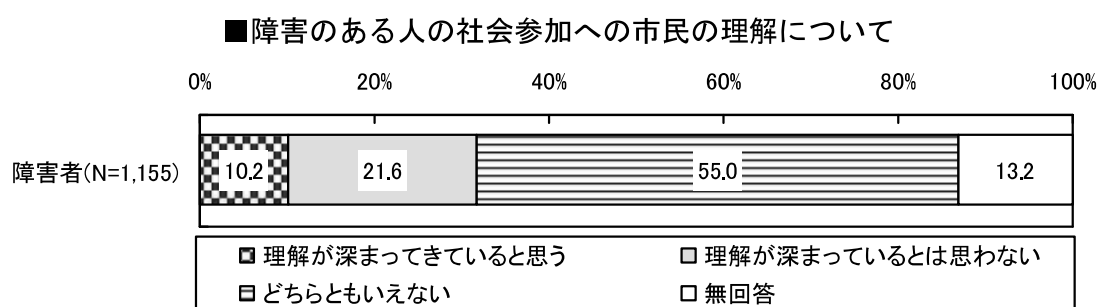
6 地域での生活について

(1) 差別や偏見について

- 障害のある人の社会参加への市民の理解について、「理解が深まってきていると思う」が10.2%、一方、「理解が深まってきているとは思わない」が21.6%です。また、「どちらともいえない」が55.0%と半数以上となっています。
- 障害があるために差別や嫌な思いをする（した）ことについて、「ある」は17.1%、「少しある」は18.6%となっています。一方、「ない」は52.6%となっています。
- 差別や嫌な思いをする場面は、障害児調査と同様に、「人間関係」（50.2%）と「街なかでの人の視線」（30.8%）が高く、他には「仕事を探す時や収入」が19.9%、「病院や歯科医院での診療時」が18.2%、「店などでの対応・態度」が18.0%などとなっています。

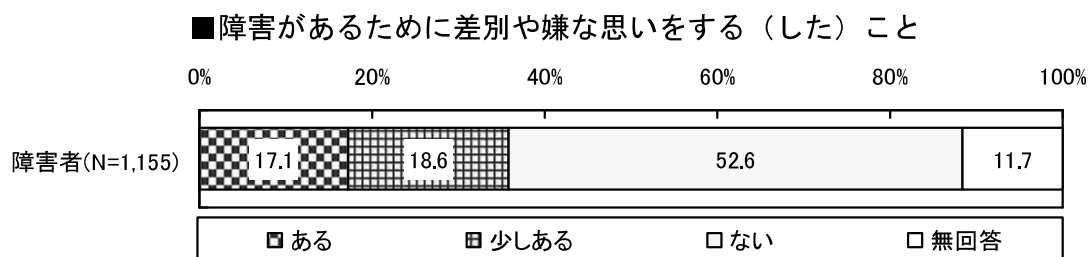
① 障害のある人の社会参加への市民の理解について

問31 アンケートの宛名のあなたは、障害のある人の地域活動や就職などの社会参加について、市民の理解が深まってきていると思いますか。（1つだけ○）



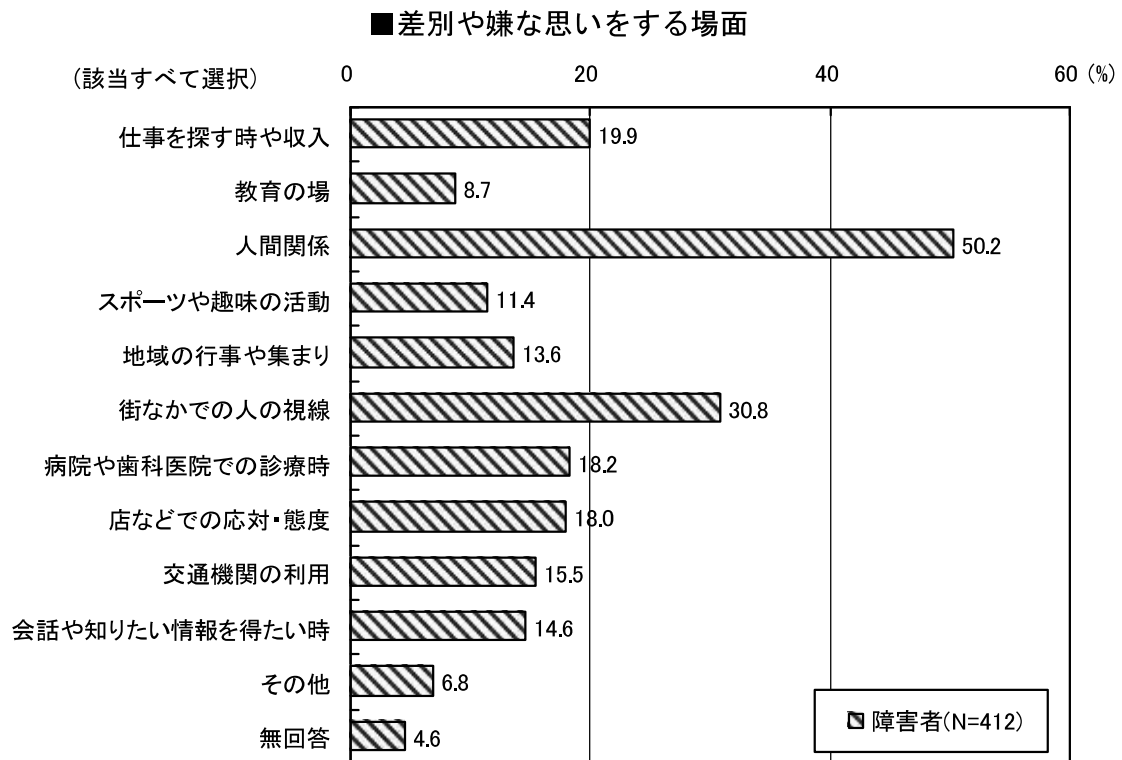
② 障害があるために差別や嫌な思いをする（した）こと

問32 アンケートの宛名のあなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（1つだけ○）



③ 差別や嫌な思いをする場面

問33 問32で「1. ある」または「2. 少しある」とお答えの方におたずねします。
どのような場面で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)



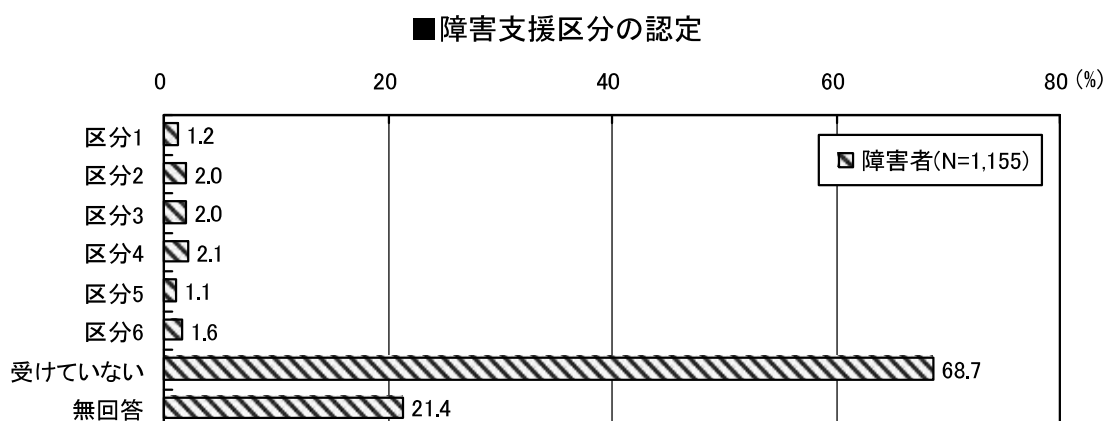
7 障害福祉サービス等の利用について

(1) 障害福祉サービス等の利用状況

- 障害支援区分の認定を受けている人は、「受けていない」の68.7%と無回答の21.4%を除いた9.9%で、必要とされる支援の度合いが最も高い「区分6」が1.6%、その他の区分は、「区分4」が2.1%、「区分2」及び「区分3」が各2.0%、「区分1」が1.2%、「区分5」が1.1%となっています。
- 介護保険制度によるサービスを「利用している」は19.1%で、一方、「利用していない」が63.2%、「わからない」が9.6%となっています。
- 障害福祉の制度やサービスを「利用している」は37.4%で、一方、「利用していない」は、「現在利用していない（以前利用したことがある）」（10.7%）、「知っているが、利用したことがない」（17.2%）、「知らなくて利用したことがない」（20.7%）を合わせて48.6%で、「利用している」より少し高くなっています。
- 利用者の利用している制度・サービスは、「各種減免（割引）制度」が31.3%で最も高く、次いで「自立支援医療（更生医療、精神通院）」（29.4%）、「ホームヘルプサービス（居宅介護）」（16.0%）、「移動支援事業」（13.9%）などとなっています。
- 利用者で制度やサービスに対して不満に思う人は、「特にない」の46.3%と無回答の20.4%を除いた33.3%で、内容は「サービス内容に関する情報が少ない」が10.9%で最も高く、次いで「利用回数や時間などに制限がある」（8.6%）、「相談や手続きに時間がかかる」（6.7%）などとなっています。
- 制度やサービスの未利用の理由は、「サービスを利用する必要がない」が44.5%で最も高く、次いで「利用するまでの手続きがわからない」が23.0%、「サービスに関する情報がない」が21.4%などで、これ以外は10%を割っています。

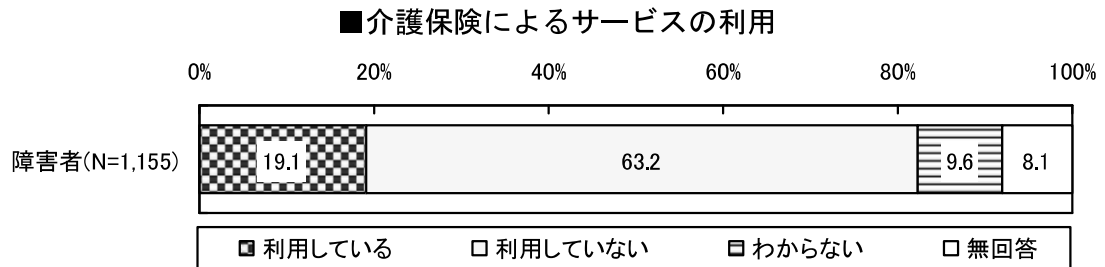
① 障害支援区分の認定

問34 アンケートの宛名のあなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。
(1つだけ○)



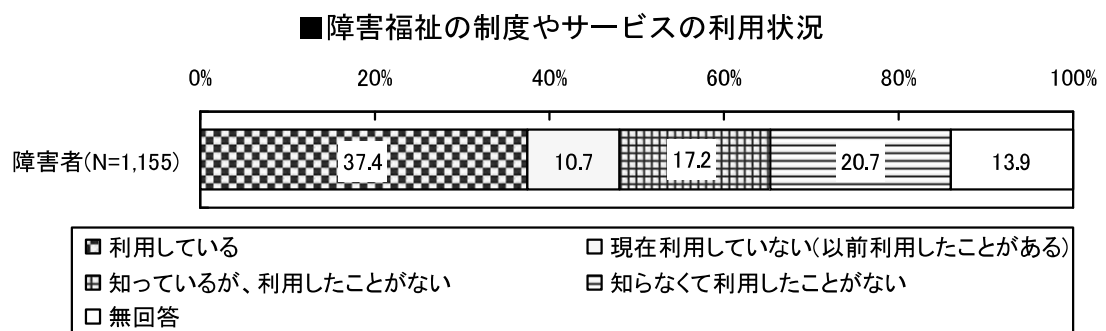
② 介護保険制度によるサービスの利用

問35 アンケートの宛名のあなたは、介護保険制度によるサービスを利用していますか。(1つだけ○)



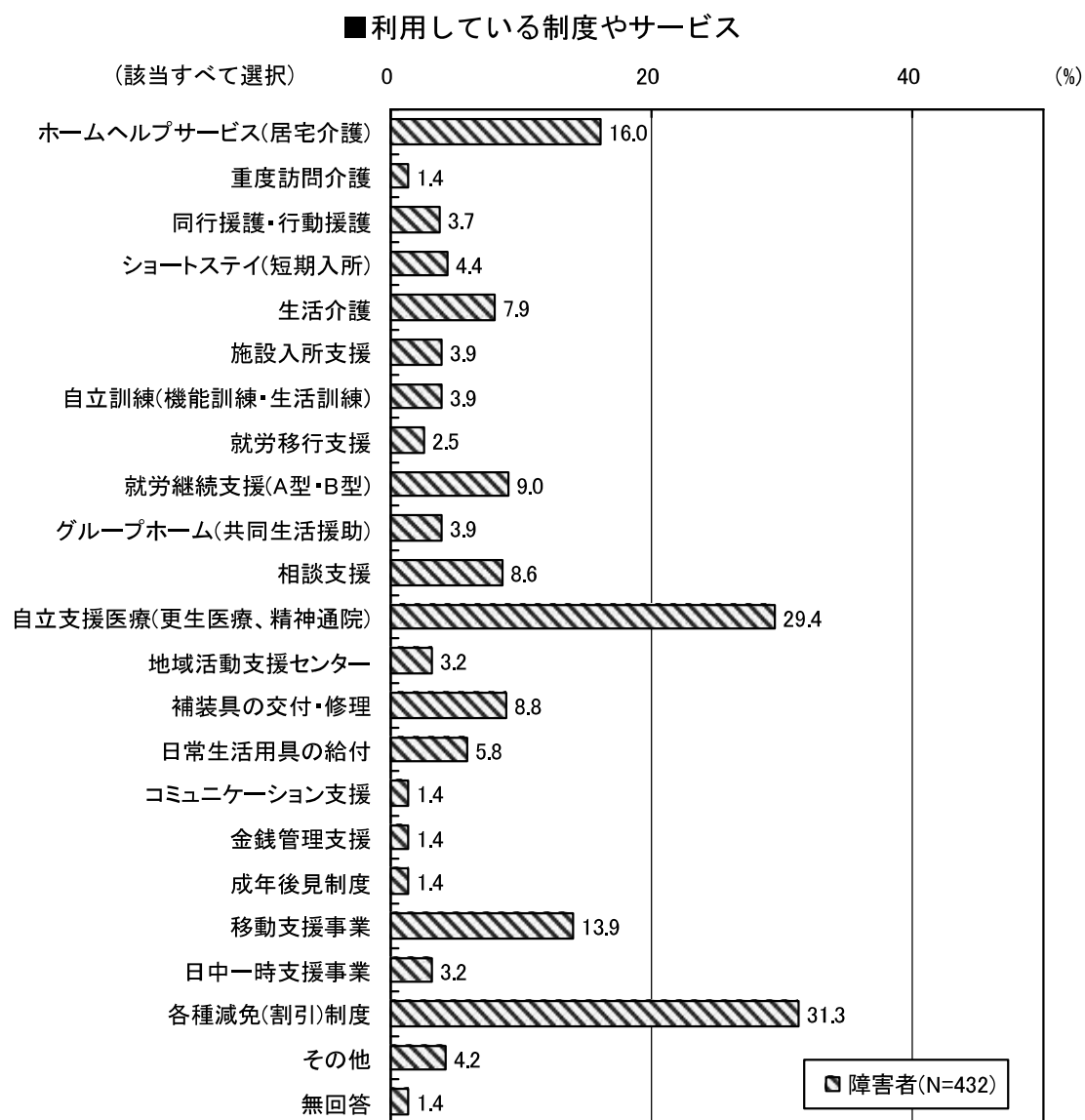
③ 障害福祉の制度やサービスの利用状況

問36 アンケートの宛名のあなたは、障害福祉の制度やサービスを利用していますか。(1つだけ○)



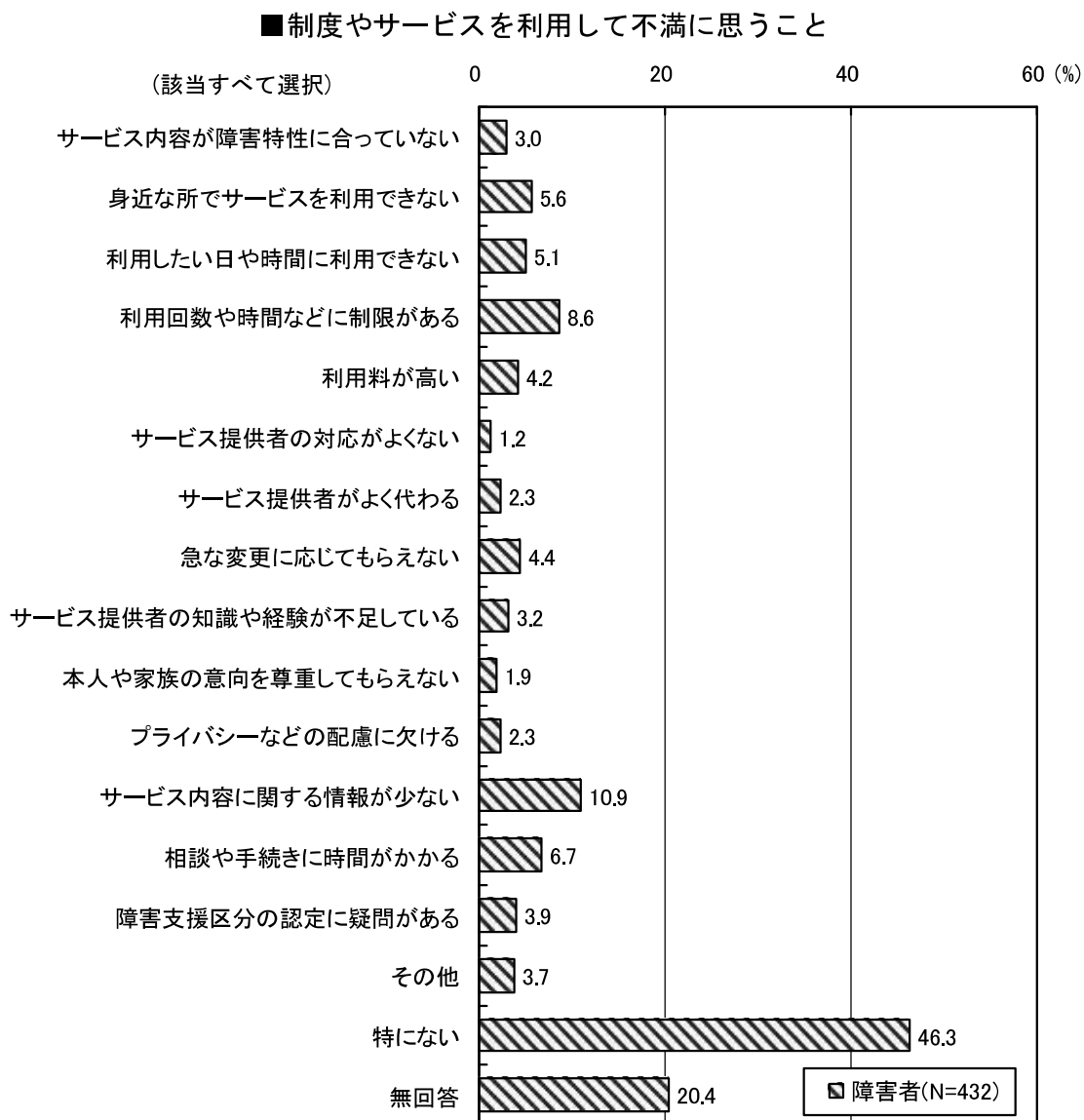
④ 利用している制度やサービス

問37 問36で「1. 利用している」とお答えの方におたずねします。利用している制度やサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



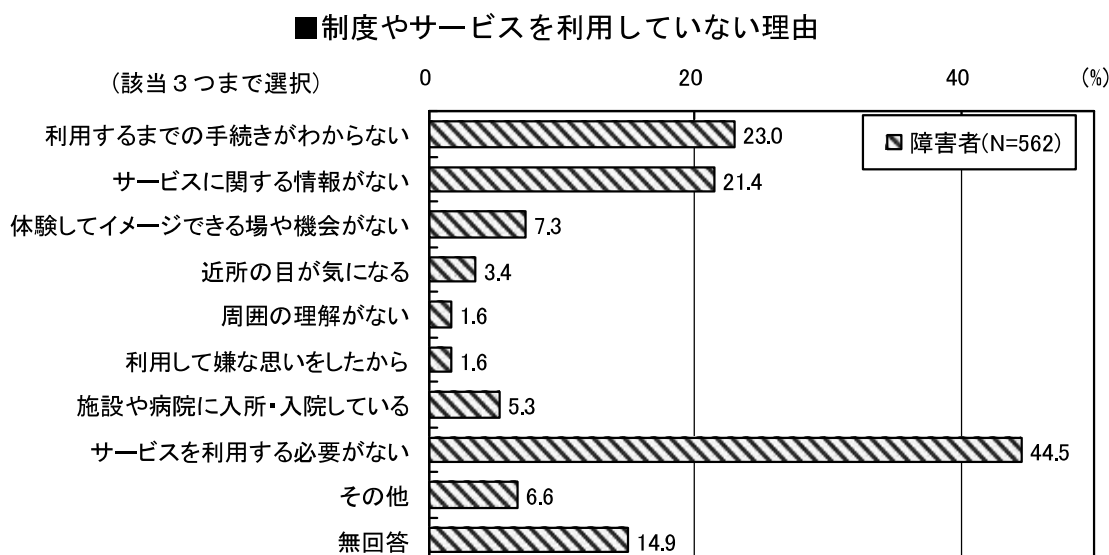
⑤ 制度やサービスを利用して不満に思うこと

問38 問36で「1. 利用している」とお答えの方におたずねします。制度やサービスを利用して不満に思うことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)



⑥ 制度やサービスを利用していない理由

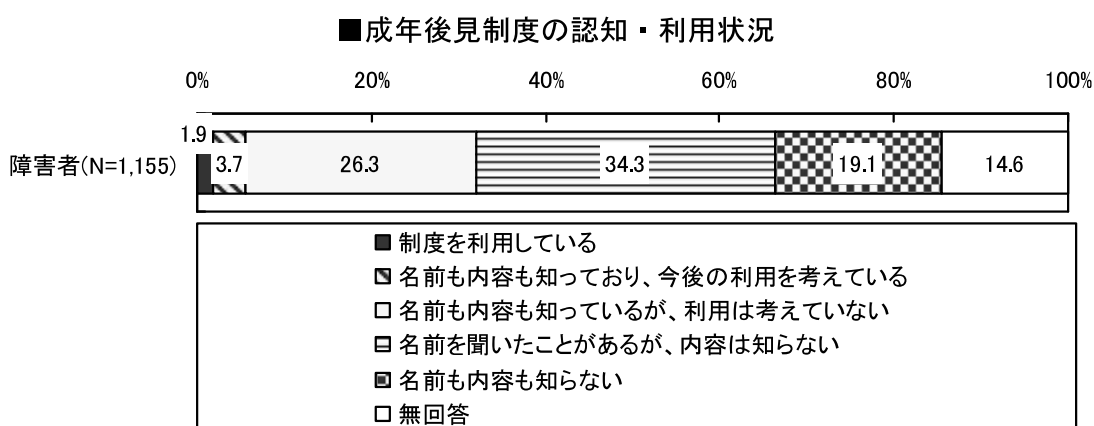
問39 問36で「2. 現在利用していない（以前利用したことがある）」「3. 知っているが、利用したことがない」「4. 知らなくて、利用したことがない」とお答えの方におたずねします。制度やサービスを利用していない理由は何ですか。（主なもの3つまでに○）



(2) 成年後見制度の認知・利用状況

- 成年後見制度について、「制度を利用している」は1.9%、「名前も内容も知っており、今後の利用を考えている」が3.7%、「名前も内容も知っているが、利用は考えていない」が26.3%、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が34.3%で、【名前を知っている】は合わせて66.2%、【内容を知っている】は合わせて31.9%となっています。一方、「名前も内容も知らない」は19.1%でおよそ1/5となっています。

問40 アンケートの宛名のあなたは、成年後見制度をご存じですか。（1つだけ○）



(3) 今後の相談支援体制についての希望

- 今後の相談支援体制についての希望は、「特にない」の36.5%と無回答の16.5%を除いた47.0%があげていて、「障害にかかわる診断や治療・ケアに関する医療面での相談」が25.6%で最も高く、次いで「休日や夜間の電話相談」及び「福祉の専門職を配置した相談窓口」がそれぞれ14.5%、「家族の悩みを受け止める家族相談員」が14.2%などとなっています。

問41 アンケートの宛名のあなたは、今後の相談支援体制について、どのようなことを希望されますか。(あてはまるものすべてに○)

■ 今後の相談支援体制についての希望

